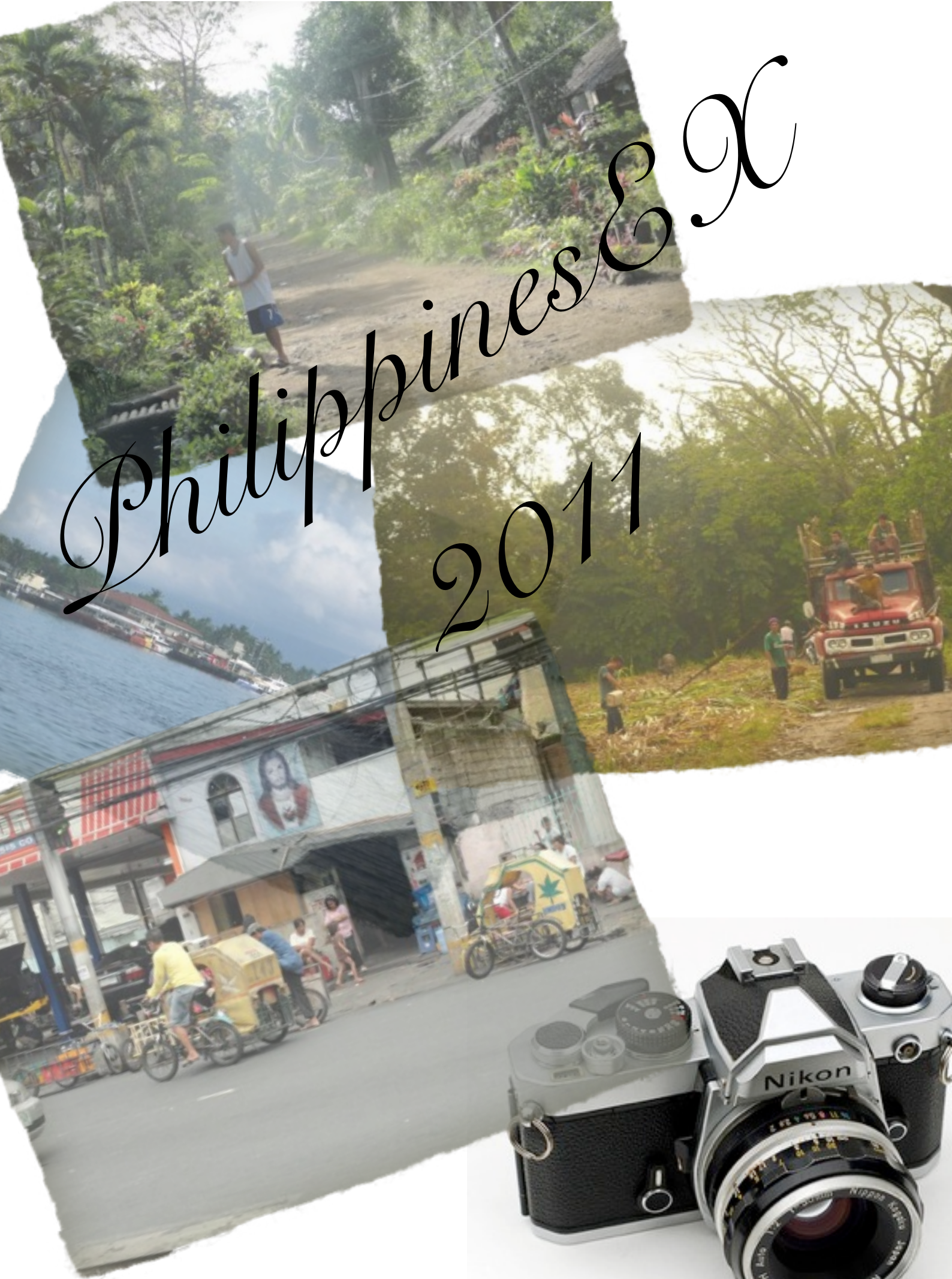


Philippines & Co 2011





目次

団長から挨拶.....	2
愉快的EX仲間たち~profile~	3
あの日の私たち~diary~.....	31
テーマエッセイ~theme essay~.....	46
フリーエッセイ~free essay~.....	59
impression!~つまり感想♪~.....	72
We are No1!~ranking~	78
フィリピンへ行くあなたへ~advices~.....	80
編集後記~editor's note~.....	81

団長から挨拶

時の流れは本当に速く、「23rd Philippine Alternative Tour (Philippine EX 2011)」が終了してから既に1ヶ月半が経ちました。去年の結団式から数えるともう5ヶ月という年月が経とうとしています。今思うと、あの結団式で思い切って団長になったことは、それまで何もしてこなかった僕にとって人生の転機であったような気がします。正直なところ不安でいっぱいだったけれど、たくさんのメンバーに支えられて乗り切ることができました。プログラム最終日にみんなからもらった手紙は僕の一生の宝物です。決して良い団長ではなかったかもしれないけれど、みんな僕に付いてきてくれて本当にありがとうございました。10日間の貴重な時間を皆と共に過ごせて本当に良かったです。

今回はメンバーが全員で28人という大人数でした。そしてメンバー全員がとても個性豊かで、クレイジーで、ほんとみんな“どうかしてるぜ!!”（笑）とにかくこの28人だからこそ作り出せた最高のEXになりました!!

フィリピンでの10日間は毎日がドキドキわくわくでとても刺激的でした。村では汗だくになって子供たちとはしゃぎまくり、ダンスを踊りまくり、バコロドではショッピングしまくり、ビーチで日焼けしまくり、夜はクラブで気が狂ったようにはしゃぎまくりして最高の毎日でした。ストリートチルドレンや大きな経済格差などの現状を目の当たりにして心が痛む事も多々ありましたが、そんな状況下でも光り輝く子供たちの笑顔は僕らの心に深く刻まれ、一生輝き続けるでしょう。EXでは皆それぞれが違った経験をし、それぞれが自分なりに考え、そして一回り成長して日本へ帰国しました。これらの経験はきっと将来の様々な場面で僕たちを支えてくれると思います。

最後にこの場を借りて、共にフィリピンへ行った27人のメンバー、このツアーの企画者であるMardi、10日間ずっと付き添ってくれたCarlo、マニラ観光等でお世話になったSandi, Rey, Kat, Ezra, Sarah, Norby, Erwin, Jamie等のボランティア、村でお世話になったCidni, Maricar、私たちを温かく迎えてくれた村の人々、バコロドの友達、いろんな所へ連れて行ってくれたパートナーのAce、自分の家族など、フィリピンで貴重な経験を得る機会を与えてくれたすべての人へ心から感謝の気持ちを伝えたいと思います。

2011年4月25日

京都支部3回 楠本 真弘

楠本 真弘

同志社大学 2 回 ＊くっすん



＊我が団長 ^^ ちゃらい！！うんこ！！！！ww

＊愛をたくさん見つけられましたねっ◎笑

＊ちゃらい

＊ちゃらうんこ(^^)

＊ゴーイングマイウェイ。ある意味羨ましいですその馬鹿さ

＊チャラうんこwwwww

＊あえて何も言わんところ。とりま一番劇的变化を遂げたひと

＊いわずもがなのキャラですよ one place one love ってチャラすぎですから w

＊熱い男。素直でかわいい、頼れる団長。もう少し理性を・・笑

＊チャラうんこ

＊ちゃらうんこ!!!

＊ちゃらい団長さん

＊ちゃらうんこ ww

＊(´・ω・)

＊Love is no border.

＊おみやげの男

＊チャライうんこ 間違いなく最強

＊語るべからず。

＊ちゃらちゃら？で面白い団長さん

＊チャライ

＊チャラうんこ

＊ちゃらー

＊神

植田 佑

関西学院大学 1 回 *だゆう



- * 細い
- * 焼けた！アロハシャツが似合うようになってた！笑
- * 海で殺されかけた…
- * だゆう＼(◎o◎)／！
- * 超変人&すけべ
- * 長い
- * 子どもと遊ぶのがうまかった。ファームのおもちや
- * 長い！細い！
- * 人懐っこくて、ファームでもジャージをはかないおしゃれボーイ。あと、目薬かなり熱い・・・笑
- * KY 代表！もやし男 w
- * 焼けた
- * フィリピン人にモテるだゆう～
- * 長い
- * 黒くなった
- * よくしゃべるよね（笑）
- * なんか憎めない
- * 細い。文句言い。笑
- * マッチ棒のだゆう～。飯食え！！！！
- * スタイルうらやまです ♪
- * 子供に人気
- * だゆう
- * メガネボーイ
- * 小言男 w

潤井 亜記子

関西学院大学 1 回 ＊りん、あきこ



- * しっかり者 ^^
- * 何気フィリピンになじんでた* 笑顔かわゆ♡
- * 家族 ^^ しっかり者!!
- * 笑顔がイイネ! 赤メガネが似合う
- * おねえさん
- * 同い年なのに落ち着いてて頭もよくて尊敬しました!
- * 単純におもしろそう。これから開発しにかかります
- * 懂れています! 宝塚♪
- * とても落ち着いてて自分をしっかり持つてる、すてき女子
- * さばさば系姐さん
- * まったりしました*
- * どんなときも冷静
- * あねごはだっばい!
- * しっかりもの!
- * おしとやか
- * しっかりもの。NGO にいそう ^^ フィリピン似あう★
- * りんちゃん♪ 何かつかめない。。
- * しっかり者 ^^ 落ち着く!
- * いつでも冷静
- * たすかった
- * 頼れるしっかり者
- * どんなときも冷静

大野弥恵

関西学院大学 1 回 *やえ



- * Jayson 宅うらやましすぎるぜ！！
- * シャツから覗く水着がセクシー★おねえさんやえ。
- * そのツンデレたまりません！
- * やえさま ^^ お姉さん (*^_^*)
- * ダンスうまくて明るくて活発でちょい萌え
- * エロい
- * しっかり者のあなたに言ってほしいことがある。ここでは言えへんけど
- * AKBのダンスは彼女がいなければできませんでした！キレ良し。スタイル良し。性格良し。3拍子そろった女の子
- * 清純派 AKB
- * もはや akb ☆かわいいです!!
- * ツンツンエロ教師
- * 元気で明るいメガネさん
- * しっかり者
- * 優しいしっかり者
- * メガネが似合いすぎる!!
- * 言わせたかった。
- * なんでもできる！美人(^v^)
- * 嫌われると思ってました ^^ ; 心の広いお方です。
- * AKBを完璧に踊りこなす！
- * しっかりしてる！
- * メガネ
- * しっかり者
- * エロし

小山啓介

関西学院大学 1 回 * けいじゃん



- * 頼りなる ^^
- * うんこすんな w w w
- * 激アツ男！
- * 足に無数のハエ w w
- * 髪の毛やばいから！全力で変態をやりすぎだと思う
- * 汚いけど性悪いけど顔犯罪者みたいだけどいい男！好き！
- * ビールとたばこ男。頼れるけど、海で用たすのやめよう ^^
- * とりまプール着いた途端にマーキングするのはやめてくれ。マジで
- * 楽しむところは思いっきり楽しんで、まじめなところはまじめ。スイッチの ON・OFF が
すごくうまい
- * え!? フィリピーノ??
- * 受け入れられないことを、かも正しいことのように語る
- * しっかり者の野生児！
- * けいじゃん
- * なぜか上半身裸
- * うんこ星人！
- * 頼りになる!! 足にハエがプーン!!
- * ただの変態
- * 現地人。足クサ大魔王。
- * なんかきたない。
- * ちょっと現地民ぽかった！ぱんつは2枚！
- * フィリピン人
- * 海で何やってんねん！
- * 現地の人みたい
- * すごく怖いフィリピン人

高木理沙

関西学院大学 1 回 *ぴゅりす



- * 笑顔を撮るのが難しい> <
- * ぴゅりーす ^^ 家族 ^^
- * ぴゅりす〜〜！！
- * おとなしいけどグサッとくることズバズバ言ってくる
- * なかなかの自由人
- * 大学生ステイではほぼ毎日 club に行ったぴゅりす。ぴゅあではない★
- * ソーラン節の件ではお世話になりました。師匠！！
- * よさこいマスター☆
- * 妖精みたいでやさしいオーラがでてる。癒し系
- * ピュアピュア☆美白
- * 帰りのバスが残念だった…
- * かわいい
- * ぴゅあがーる！
- * ヨサコイの女神
- * ピュア (● ^ o ^ ●) ソーラン節の伝道師
- * ソーラン節のピューリスさん。かっこよかったです。
- * ソーラン節素敵でした ♪
- * ソーラン節！
- * ピュアそれは嘘
- * 意外と毒舌
- * 本性やばす w

鳥丸大貴

関西学院大学 1 回 *たいき



- *とりき。フィリピンでもイケメン扱いー！イイネ！
- *モテすぎ！！ 自重しろ w w
- *イケメンなのに馬鹿。
- *グラサン似合う偽セレブ
- *ばか
- *日本では地黒イケメン。フィリピンでは現地のスター
- *イケメンは万国共通だね w
- *フィリピンでもてたから、「日本帰るの怖い」って言ってたけど日本でももてるやろ
- *天然チャラ男
- *もてすぎで面白い
- *エセ韓国人俳優
- *サングラス
- *一番フィリピン人っぽい
- *フィリピーノ
- *チャラやさしい
- *イケメソ
- *万国共通なイケメソ
- *そうさ〜キミは〜フィリピンスター〜♪
- *とりき。英語ぺらりんちょ
- *モテモテ!?
- *フィリピン人
- *フィリピンでモテモテ
- *一番フィリピン人っぽい

福本優佳

関西学院大学 1 回 * ゆか



*マイペース。不思議ちゃん^^

*キャラがかわゆす！

*アクティブガール^^

*明るくて素直な子

*セレブ

*お嬢様♥

*やっぱりお嬢様だった w 買い物のときの歩く早さが私と同じくらいで嬉しかった w

*ときたまびよワールドにいらっしゃいますね

*ボーダーワンピースと水着が印象的。Beautiful と Cute の間を地でいく子。てかピヨ彦ってなに？

*何をしても気品が漂う。その行動、見習いたいです

*姉さんw

*実はちょっと変わっている

*お嬢様！

*むっちゃ気使ってくれるいいこ!!

*自分だけ海に落とされないと思ったら大間違いだぞ

*セレブリティー!!! スタイルいい^^

*個人的水着姿 No.1 のかわいらしさやった～

*子どもと遊ぶ姿とてもほっこり♪

*ちょっと天然？

*元気

*ふわふわしてた

*ふわふわしてる

塩谷直大

神戸大学 1 回 * しおちゃん



- * 歌声いい！！
- * 歌うまい！海が似合う塩ちゃんでした*
- * 変態紳士。ひそかにめっちゃモテてた～
- * よくわかんない
- * きちがいとしっかり者の使い分けがうまい、変な奴^^
- * ド変態やけどメリハリしっかりしてる
- * 不思議だけどめっちゃやさしい♥
- * 変態！変人！でも賢人！
- * 相変わらずやな一ww でもそんな君も好きでっせ 〵(*^▽^)/
- * 自由に動いてるけど、いつもみんなの中心にいる人気者。スポンジボブの絵がうますぎて驚いた
- * 笑顔が素敵☆
- * 優しいネジの外れた変態
- * 歌うまい！
- * 歌が上手い
- * エンターテイナー
- * 不思議ちゃん
- * エッチマン
- * (変^ω^態)
- * 歌声が神～！
- * 歌が上手い！
- * クレイジー
- * 常に歌ってた
- * かつこいい！！

亀谷由太

神戸大学 2 回 *かめ、かめさん



- *チャライ！！優しい^o^
- *みためチャライ^^笑 グラサン似合います(@@)
- *ちゃらい、やさしい、面白い、エロいが構成元素
- *ちょーしのったおさるさん
- *チョコ男！ALWAYS デレデレw
- *気配り上手
- *みんなの前でマイク持ったらスターの並にノリノリない人
- *単純でおっさんでかわいい子に弱いけど優しいせんばい！
- *かめさん！かめさん！やさしい！
- *なぜだろう。こんなに残念なひとは見たことない。でもフィリピン誘ってくれてありがとう
- *ムードメーカー。短い時間で一気に自分のステージにしてしまう
- *ゲイに好かれる旅のお伴
- *面白いw
- *盛り上げ役
- *かめかめ～(^^)
- *おじちゃんみたい、むっちゃおもろい！
- *チャライ！やさしい！面倒見がいい
- *なんか残念な人
- *ムードメーカー^^
- *盛り上げ上手
- *フレンドリー
- *なんだかんだでめっちゃいい人
- *尊敬できるきやめさん

谷口俊介

神戸大学 2 回 *たにい、たにさん



* エスニック!!! おしゃれ。

* ワイルドって感じ★ソーラン節が苦手っぽい様子。w

* 九州女子のあこがれの存在! 大人~~~~*+

* おとーさん^^ 甘いものが大好きww

* かつこおかしいけど頼れる兄さん

* いけめそ

* **けだるいおっさん**

* 日焼けしたらすっごい痛そう(;´Д`) 白すぎるから・・・w

* 白い現地人。自由そうに見えて、みんなに気配りができる

* おしゃれさん

* 現地のお父さん

* 現地の人

* おしゃれ

* しっかり者のお兄さん

* アジアンティスト

* 21 になってようやく少年の心を持った

* おとうさ〜ん>< 面倒見の良さはんばない

* フィリピンでの谷さんはおかしかった。そして可愛かった♥

* バンダナつけたオッ、、パパです。

* かわいい(笑)

* 服どこで買ったの?

* おしゃんていー

* 現地の人

前栗倉志帆

神戸大学 4 回 ＊まいけるさん



- *話してると落ち着きます ^^
- *やさしい女性マイケルさん ☆癒されます～
- *お母さんばい！頼れる存在感。
- *しほさん！！ 焼き肉いきましょう ^^
- *海のように優しい人
- *おかあさん
- *おかーさん！
- *マイペースだけどめっちゃしっかりしてお母さん♥って感じ
- *マイケルさん feat. Philippine は最強。癒し度がハンパない。
- *お母さん
- *優しい姉さん
- *癒し！！
- *母のような心の広い人
- *優しいお母さん
- *むっちゃ優しい先輩です
- *安定感抜群
- *癒される。ナイスキャラ w w
- *なんか兄貴っぽかったです。マイケルさんかっこよすです！！
- *AKBダンス輝いてました！
- *お母さんみたい
- *まるで母のよう
- *お母さん
- *母のような心の広い人

岡本夏実

甲南大学 1 回 * なっちゃん



* 案外テキトー

* クール！クラブでばりモテモテー

* なっちゃん、オレンジ味らしいけどほんま？

* てきとー

* なんでジャイアンって呼ばれているの？w

* かわいい女 なっちゃんダンスのやる気は、ない★☆笑

* クールビューティー

* てきとうでゆる～いやる気のない感じがたまらなく好きでした

* ハニカミプリンセス。そのままいてほしいと思った

* ペットみたいに素直でかわいい女の子

* ミャオバ☆

* 癒されました*

* ところどころ適当

* 小動物みたいかわいい

* クールビューティー

* 先輩をなめてる

* 覇気のなさ NO1. かわいい★

* なっちゃんはねえ、素顔のままでいいよ ^^

* 見ててなごみます ^^

* ジャイアン！（笑）

* 肉食

* ジャイアン

乙丸知佳子

甲南大学 1 回 ＊ちこ



＊アクティブ！！

＊優しいお母さん

＊デリケートやね

＊おとめちゃんはフィリピンでもおとめちゃんでした！

＊下ネタ勉強中w

＊ちこちゃんいたら笑いが絶えない。おもしろい女ちこ^^

＊たのしそう

＊いつも元気！いつも楽しそう！何気に純粋☆

＊ポンコツチコリータは使えないということが判明。あんぼ氏とポケモンセンターに行つたほうがいい

＊素直で純粋で心やさしい、ポジティブ。妹のような存在

＊やることがハンサム。ほれました!!

＊ちんこりーた ww

＊ムードメーカー

＊面白い

＊チコリータ！しっかりさん！

＊とにかくおもしろい!!

＊センチメンタルガール

＊ん〜フィリピンを通してイジッていいキャラになっちゃいました。

＊一緒にすずめ踊りを海で踊った友

＊一緒にいて楽しい！

＊レモン

＊なんだかんだしっかりしてる

＊大好き♥

津田大地

甲南大学 1 回 * だいち



* 長い！！超長い！！！！w

* M

* でっかーw w

* ながい

* めっちゃ背でかつ $\Sigma(^{\circ} \text{口}^{\circ})$ // 私にわけろ！

* フィリピンでクラブデビューしてクラブ嫌いになった高い奴

* ファームで頑張ってたよね！彼はすごく成長したと思う！.

* のっぽでぬーん $\cap (^{\omega} \wedge) \cap$ 高身長理由はよく寝ること。

* 素朴で素直。バコロド初日、なぜメイクしていたのだろうか・・・笑

* ○○○顔！！爆

* とにかく面白い

* 天然ドMののっぽさん

* 高い

* 身長

* 真顔素敵（笑）

* 草食男子っぽい顔してます

* 話していると首が痛い

* 長い。

* でくの棒 なんかでかかった。そしてイイ奴だった。

* メイク似合ってた黄色い店員さんっ！

* 背高い

* ジュラフ

* 長いほんまに優しい子

畑安由美

甲南大学 1 回＊はたちちゃん



- *ウサギみたいな感じ
- *津田の反対^^
- *ちっちゃい
- *ちっちゃくてめっちゃかわいい♥
- *抱きしめたい N01！
- *体重かるっ！SM モールではサッカーボールの中でジタバタしてたね★
- *ちっちゃくてかわいい^^
- *S サイズ^^
- *ちっさめかわいいがはたちちゃんスタイル。ファームの子どもといると姉というかむしろ妹サイズ
- *ちっちゃくてかわいくてアイドル的な存在。ちゃんと自分の意見をしっかり持っている
- *cool
- *癒しの小動物
- *ほにやりとした空気の人*
- *娘にしたい人No. 1!?
- *小さくて可愛い！
- *俺の娘になって欲しい
- *小さい。
- *はたちちゃんの笑顔大好き、癒されます、空気がいいよね♪
- *薬の守護神；；お世話になりました！
- *小学生
- *小さすぎて見えない
- *バービー

八嶋勇人

甲南大学 1 回 * やっしー



*めっちゃええやつ！友！

*ふとった

*現地のバファリンで顔がはれててかわいそうだった w

*たまにすべるコメディアン w

*エンターテイナー

おいしいところってくヤッシー(^^)文化紹介ではお疲れです

*ファームでの人気っぷりに軽く嫉妬。すごく頼りになりました！

*いいやつ過ぎる ^^ 常に全力。途中エンストおこしてた ^^ ;

*やしまの万能さは鉄板すぎる。いかついのはえせタトゥーだけ。

*神戸・・・いや日本を代表する祭り男。気配り、よいしょはピカイチ

*私にもゴマ搦れや

*走ってた w

*ファームの人気者

*ノリ最高

*Mr.八方美人!!かわいい子には目がありません!!

*切り込み隊長。愛してる

*タイ米。盛り上げ上手

*やしま。ゆうと。

*ビーバーで B a b y らしい ♪

*面白い

*ジャスティン・ビーバー

*ジャスティンビーバー

*愛すべきゲイ人

米本千紘

甲南大学 1 回 * よねっち



- * 天然 w w
- * クラブでの踊り方がやばいくらいテクってる
- * 自由人
- * マイワールド
- * 不思議すぎだから！ w
- * 別次元！新感覚！よねっち！
- * 村 life に一番なじんでた気がする！子どもを引き連れるよねっち。
- * 個性的！
- * とりつかれたように踊る。踊る。踊る。鬼のように踊る。
- * 楽しむのがうまい。楽しみすぎて日焼けめっちゃ痛そうやった・・・
- * マイペース
- * ノリのいい素直な娘さん
- * 自由な人 w
- * 独特の世界観を持つ
- * 天然！かわいい！
- * ファーむでは子供を引き連れて村を闊歩!!
- * ぼわーん
- * よねっちワールド炸裂(´・ω・`)!!!
- * よねっちは.... すごかった(笑)
- * よく食べる子 ^^ 仲間 ♪
- * 自由人
- * やらかす
- * 一言じゃ言い表わせない人物
- * 迷子 w

有方慶江

神戸女学院大学 1 回*のんちゃん



- *おもしろい頑張り屋さん^^
- *女の子捨ててるようで捨ててない
- *うん・・・
- *元気^^服かわいいw
- *意外とピュアな dancing girl!
- *肩の日焼けが痛そうだった
- *AKB がシンメトリーになっていたときはめっちゃ感動したよ、(=´▽`=)/
- *いたぶられる女のんちゃん。面白い★水着にあう。ダンスうます!
- *神戸メンバーからのいじられっぷりがすごかった。面白かった!
- *からまれるとヤケドする危ない子。Dokasiteruze!!
- *英語ペラペラ。積極的に周りに関わる姿勢はすごく尊敬する
- *腰つきとトークのセンス下さい
- *元気!
- *いじられキャラ
- *アイコ〜! すきよ〜
- *ゲスイ!! 笑
- *谷間を見ても興奮しない
- *のんちゃんワールド炸裂(´・ω・`)!!!!
- *ノリよく応えてくれる最高の女の子♪かわいらしいし。
- *ダンス上手なのりのり girl^^
- *頼りになる
- *子供さらい
- *元気!!

安保夏絵

神戸女学院大学 1 回 * あんぼ



- * よく食べました★笑 おしゃれな癒し系 annbo!
- * 風船並みの変化 ^ ^
- * まったりした癒し系。リラックマみたい
- * キャバ嬢! ?
- * 食う。とにかく食う!! w
- * 肉にかぶりつくのが一番似合っていた w ベトベターw
- * ベッド壊した仲間さ! w
- * バコロドで2人で迷子になったことはずっと忘れないよ★
- * ベトベトン (* ㄥ *) やせるやせるといいながらあんだだけ食べるのはどうなんだろう。それがあんぼ氏
- * ベトベターの演技はすごかった。おっとりとした雰囲気からは想像つかないが何かを持ってる
- * 安保ちゃん時間が好きです♡
- * 両手に食糧 \ (^。^) /
- * まったり癒し w
- * 食いしん坊! ?
- * ふんわり東北ガール
- * もうベッドは壊さないようにしましょう!
- * かわいいベトベター
- * あんぼちゃんワールド炸裂(`・ω・´)!!!
- * ベとべたーさん。そして気づかい Forever。
- * 食いしん坊
- * 食欲
- * 声かわいい
- * 食いしん坊! ?

坂下佳穂

神戸松蔭女子学院大学 1 回 ＊かほ



- * ソーランうまい！親切な女かほちゃん*
- * しっかり者の毒舌屋さん ^^
- * 声可愛いしっかり者
- * つかめない
- * 気がきく ^^
- * おとなしい。声がかawaii！
- * おっとりしてるのにボラカイで一人晩酌したり、つかめない(笑)
- * 毒舌吐かせたら天下一。坂下家の血を受け継いでいることを実感。
- * 甘え上手な愛されキャラ。人の輪に自然に入っていて、壁がない
- * 天然!? いやいや洞察力ありますよ！
- * 甘えん坊？いいえ、しっかり者です
- * 汚れなき希少価値な女の子
- * かわいい声
- * 気が効く良い子
- * ロリボイス
- * かほワールド炸裂(´・ω・｀)!!!
- * かほちゃんそこまでイジッていいの～?? みたいな
- * もはや私のママでした；；
- * 癒される
- * 未開
- * 癒し
- * マネさん

辻早紀

岡山大学 1 回 ＊ さき



＊おっとり癒し系 ^ ^

＊天 然

＊さきの笑いがすきー♥

＊買い物好きおしゃれ好きみどりばなな好き;)★笑

＊こどもにモテモテわず。

＊清純派モテ子！森ガール！ふわふわ☆

＊明るくて元気な女の子。じゃっかん天然

＊雰囲気美人。(ルックスもかわいいよ?) ほっこりほんわかかわゆすなー (*^_^*)

＊一緒にいて安心感がある。唯一の岡山支部だけど、話せばすぐに仲良くなれる

＊マイペース？天然？あなた夢見がちでしょ！

＊とにかく、かわいい☆

＊笑顔が可愛いおっとりさん

＊細くてかわいい！

＊天然!?

＊優しいかわいいだいすきだ！

＊バーで会ったカルロの友達にはまだ夢中なんすか!?!笑

＊天真爛漫

＊広末涼子～～！！

＊なんか自由な人でイイ感じやった。うらやましかった。

＊ザ・癒し^^！おそろパーカー！

＊かわいい！

＊遅くなってごめんなさい

＊色白！かわいい

＊可愛い

太田麻菜美

北九州市立大学 1 回 * まなみ、まな



- * クールなおしゃれお姉さんまなちゃん * sexy~
- * 亀さん手なずけすぎ(笑)
- * どこ行ってもモテますね w w
- * Tattoo の似合うアイドル。ジャンパー！
- * 男をもてあそぶ!!! w
- * the 美人
- * 美人は世界どこ行ってももてるということがよくわかった。うらやましす (‘‘)
- * めっちゃ美人！スタイルよすぎ！
- * 万国共通の美女。日本でもフィリピンでもモテモテ
- * 意外としっかり者のおいしいところ全部もっていく美人 w
- * ANESSA の CM を見てるかと思った
- * そのモデル体型分ける！
- * 美人！！！！
- * 美人
- * うふふふふ！さすがです (笑)
- * 大人な女性です!!
- * 魔性姉妹の姉
- * 美人！スヨンみたい。かわいい。
- * もててましたね。だれにでも。
- * 水着姿やばし 〃
- * 人気者
- * かぶってる
- * モデルみたい
- * 美人

工藤眞世

北九州市立大学 1 回 * まよ



- *海が似合う女まよちゃん。毎日おしゃれだった**
- *おちゃんとのやりとり面白かったです^^
- *70年代のキャバ嬢で唇セクシー
- *声かわゆしー
- *何してもやらしいw
- *仲間想いのDカップ?あれ、Eやっけ?
- *グラビアアイドルにいそう!ファームで一緒にしたパックは格別でしたねw
- *セクシーな女の子
- *オンオフスイッチが激しい。酔ったらチューしてくる*><*
- *おバカさん丸出し。こんなんでいいんかいって感じの子。
- *セクシー系。いつもおしゃれに手を抜かない。元気娘
- *でか乳の変態妹分
- *かわいいだけじゃないw
- *セクシー
- *ナチュラルハイ!!
- *20ペソの女
- *猫みたい^^きゃわゆす(●^o^●)萌え
- *いきなりまじめなコトを語り出す意外な人。
- *まよどん。イケイケどんどん!かわゆす^^
- *セクシー
- *20ペソ
- *セクシー
- *セクシー

針崎万麗夜

北九州市立大学 1 回 * まりや



- *めっちゃ面白い。無茶ぶりにも対応してくれます^^
- *ひゅーひゅー
- *ほった赤ない？
- *ド M。変態。ベッド壊した。
- *パワフルすぎるから w
- *下ネタ言いまくったりゲスいのになぜか恋愛対象に入っちゃう。不思議…
- *体はりすぎ w w
- *体型についてはここでは言いまへん。もはや直接言うほうがいいと思うのでみなさんよろしく (=´-`)/
- *フィリピン滞在時間No.1。しっかりしてて頼りたくなる。姉御肌
- *M
- *ゲス崎九州頼んだぞ(^^)/
- *おんなのこ・・・？
- *M
- *げす (笑)
- *外国人にはもてるんです!笑
- *泣き虫妊婦さん
- *ゲス崎さま。オモロー だまっとけばかわいい！！
- *まりやちゃんはねえ、もうちょっと痩せようね♪
- *ばわふる！一緒にいて全部楽しかった！
- *いじられキャラ
- *下品
- *笑顔かわいい
- *可愛いぞっ w

福井千聖

北九州市立大学 1 回 *ちさと、ちさっていー



- * She looks like 沢尻エリカ！！
- * モテスギ w w
- * 常キャピキャピしてる感じのギャル
- * ぎやるぎやるぎやる
- * 超絶美人♥フィリピーノの視線を釘付け w
- * 頭のねじが足りなさすぎる BITCH♥
- * 意味わからんぐらいどこ行っても人気。老若男女問わずとにかく人気。
- * セクシー路線を地でいく九州っぽい子。
- * 出すぎず引っ込みすぎず、絶妙な存在感。愛嬌のあるエリカ様
- * 美
- * ド天然の可愛いこちゃん (*´`*)
- * 美人姉さん w
- * ファームでモテモテ美女
- * ぶっとびが一 (笑)
- * 魔性姉妹の妹
- * エリカさま〜><はあと///
- * よくわからない子でした〜♪。
- * しっかり者のまったりオフ系´`
- * 美人!エリカ様
- * パクられる
- * どこでもモテモテ
- * 美女

宮脇将太

北九州市立大学 2 回 * しょうた



- * 見た目との GAP あります★笑
- * 面白いしっかり者。安心感異常
- * 男の中の男。あの涙はかっこよすぎた！
- * ちゃらいおっちゃん
- * いい男すぎる！！男前！！！！
- * 海でサーフィンをやっていそう！
- * 涙もろい野性男子
- * どこいっても人気者^^そしてすぐ泣く(笑)とっても熱い男です
- * ガチムチでいかつい。の割にからみやすい。
- * 気配りが自然。大人っぽいけど、はっちゃける時は少年に戻る
- * 紳士
- * 男友達で〜一番サランヘヨ♥www
- * お兄さんな人w
- * ジェントルマン
- * ミスター男泣き
- * 色々やらしい
- * 初対面は怖かったけど、実はお兄ちゃんキャラ
- * しょうたさんは優しい人。ただ殺されそう。
- * 純なお方でした。子どもたちに人気！
- * 以外に感動屋
- * ギャップ
- * the 九州男児
- * がちむちむかいさん

四枝あゆみ

北九州市立大学 2 回 * あゆみ



- * お姉さん。ダンスうまいです。
- * がんばれ！！
- * ねえさん!!!
- * 痴女だと思います ^^
- * 変態的ドM姐さん♥
- * かつこいい姉さん
- s * 我らが姉さん！話す内容の 8 割が下ネタ！そんな姉さんが好きです><
- * 不良っぽいけど、たまに女の子らしいところが可愛い
- * 九州の元ヤン。いかつさは女子の中でもトップクラス。
- * フィリピン Ex.に参加してねえさんが 1 人増えました w ねえさーん、(=´▽`=)ノ
- * みんなから慕われる姉さん。イケメンを前にすると恥ずかしくて見れなくなる、かわいい女の子
- * 姉さん
- * かつこいいあゆみ姐さん！
- * 一生ついていきます！
- * 姉さんとか呼ばれてたけど、実はど M なんです！
- * テストは 0 点下ネタ満点
- * やさしいお姉さん！ニコニコ動画ゆーざー。
- * 思ったほどビッチではなかったです。かわいかったです♪
- * お姉さまです。色気！
- * お姉さん！
- * なにを求む
- * 姉さん
- * 下の神様

あの日の私たち

Diary

February, 28

津田大地

ショッピングモールに行った。中に入る時にボディチェックをうける厳重っぷり。よねっちはいなくなった。帰ってきた。良かった。日本のショッピングモールと変わらないくらいの大ささにはおどろいた。夜はチキン。これからチキンは始まった。

大野弥恵

日本時間20:40発、現地時間23:50着予定のフライトでフィリピンに向かった。
結局現地に到着したのは日にちをまたいで28日。真夜中にも関わらずカル口たちが迎えにきてくれた。ホテルに荷物を置いてセブンイレブンに（お腹がすいていたんだらうねw）。そこでフィリピンでの初買い物をする。買ったもの、水w
次の日、ボランティアの大学生に引率してもらいマニラ観光へ。マニラの大学に通う19歳の女子大生が引率してくれた。まず彼女の一人暮らしの家に行った。マニラに通う大学生が多く住んでいる高層マンションの彼女の部屋からマニラを見渡した。ホテル、電車、貧しい人々が住んでいるエリア。すごい・・・と思ったがそれよりも怖かった。なんせ私は高いところが得意ではないw
そしてショッピングへ。彼女のボーイフレンドも合流しショッピングセンターにジブニーで行った。初めてジブニーに乗ったときのあのドキドキわくわく感はサンタさんがいると信じていた最後の年のクリスマスのそれと似ている（?）。乗り心地は決して良いとは言えないがとても楽しかった。ただ環境汚染はひどいだろうなあ・・・あと人が降りるときくらいはちゃんと止まってほしい！そんなにあせらんといて（; ㄟ `）
w
ショッピングセンターの中は日本と変わらなかった。そしてやっぱり女の子は買い物が好きだw 他のグループと合流してお昼ご飯を食べ、スーパーマーケットにも行った。
初めての海外ということもあってテンションは常にhigh\(^▽^)/
でもベッドが絶妙なかたさですぐに寝ることができた。

March, 1

畑 安由美

プログラム初日。前日、私はなつみちゃんと二人でホテルに取り残されたり...となかなか刺激的なフィリピン初日を過ごしたので、やっと始まった！って感じでした。Opening Sessionでは自己紹介やディスカッションをしたけど、英語のわからなさこれからやっていけるのかものすごく不安になりました。そのあとはグループに分かれてマニラ観光!! 教会やnational parkに行ったり、日本軍の大砲を見たりもしました。なかでも、馬車での移動はとても楽しかったです！SM Mallでの夕食はとてもおいしかったけど、ビールタワーとみんなの飲みっぷりにはびっくり！夕食後、私のグループはちょっとした乗り物?に乗って遊んでいたのですが、気づいたら集合時間を20分程過ぎてしまっていて...怒られるの覚悟でバスに戻ったけど、まだ半分以上帰って来ていませんでした。まさにPhilippine time!!この日見たもの、感じたこと、体験したこと全てがとても新鮮で“フィリピンにいるんだなあ”と改めて強く実感した一日でした。とても楽しかった！

針崎万麗夜

7時半起床！前日3時就寝やったけんかな><とりあえずホテルで朝食とってからwelcome ceremonyへ！Ex楽しもう、悔いのないようにしよう決心\(^o^)/とりまカル口おもしろかった。サンドイッチ食べて皆でバスで移動。そしたらMax'sでまさかのランチタイム☆フィリピンの毎食後のスナックタイムには驚かされた。午後からのマニラ観光♪6人グループぐらいで行動開始。あたしのグループは早紀・かめさん・よねっち・しおちゃん・Sarah。はい、個性揃いw下ネタトークですぐSarahとも仲良くなれたし、本当にこのメンバーで良かった^^かめさんがメンバー全員に買ってくれたブレスレットは大切にします(*^_^*)このTourを通してリサール公園やイントラムロスを観光できたし、Sarahがフィリピンの歴史について教えてくれた。そっから、SMモールへ！フィリピン土産買ったり晩御飯食べたり...とりあえずSMモールでかすぎ！ビール安すぎ！しおちゃんとかめさんのモグラたたきを必死にやってる姿は爆笑ものでしたwプログラム初日がこんなマイペースな皆と濃い時間過ごせてよかった。けど、無情にも別れはやってきて...。Sarahとホテルでバイバイするときは本当に悲しかった><けど Facebookでいつでも会えるよね(^v^)
夜は将太さん・あゆみさん・ちさと・だゆう・たいぎ・けいじゃん・やっしー・だいち・しおちゃんてアルコールタイム♥とりあえず下ネタ！本当に卑猥でごめんなさい(:_;)ではでは3時におやすみなさい。

四枝あゆみ

ドマゲッティに到着。ファーム1日目。林に囲まれた集落、竹でできた家、たくさんのサトウキビ畑、そんな日本とかけ離れすぎた所にまさか一家に一人放り出されるなんて思いもよらず・・・；初日は心細さで泣きそうでした。でも子供達の可愛らしさとパワフルさ、ママの優しさは一日目から既に十分感じ、また自分の英語力のなさに対して情けなさも感じ、複雑な気持ちで眠りにつきました。

それにしてもトイレとお風呂はほんと衝撃的すぎて、あ〜私無理だ＼(^o^)/ㄴㄴ！状態。

日本人にしてみれば、THE☆不潔少女(少女は厳しいか)だった。汗だくの服を着回し、バスタオルだって洗ってなかった。注：言ったら、手洗いさせてもらえたらしいorz

汗臭かったらごめんなさいでした。

谷口俊介

am.3:30。たった4日（before込みでこのホテルに3泊したのです）で慣れきった男部屋にけいじやんを一人残してかめとふたりこっそりパッキング。マニラを離れて目指すはファーム。とにかくビックリするくらい眠くなかった。リンゴとなんかスナック的なものを渡されて空港へ。DumagueteへはCebu Pacificで。もちろんリンゴと一緒にパスポートをふたり分もってきたやつとかもいてカル口はいつになくピリピリ。ここにきて寝不足の思考回路停止。とりあえず無事についてよかった。（いろんな意味で）Dumagueteに着いてからは市内観光。海岸線のきれいさに目が覚める。ここが日本とは違うところだと改めて実感。と同時にこの海の先には何があるんだろう。とか思ったり思わなかったり。教会だとかモールだとかを見て回る。モールにてサングラス購入。100円なり。それから昼食タイム。鶏もも肉の丸焼き。今思えば至極当然のメニュー。近くの海は冴えるような色だった。いいねー。そこから車に揺られてる間昼寝タイム。起きたときにはファーム。正直寝といてよかった。下手に起きてたらファームでどう振る舞うかみたいなんで身構えてたかも。起きた瞬間にはファームだったからココロの準備もない。とりあえずシドニーさん家でファームの説明を受けてからホストの発表。ドキドキ。...おいおい。これって。どうやら各ホストに1人の参加者みたい。発表されたらソッコーで荷物もってホスト宅に拉致って。あまりにもみんなが1人ずつ消えていくのでちょっとビビった。うちのホストは3人兄弟の家。Nicky、Noi-noi、Moi-moiそれにPapa&Mam。...ものっそい家電が充実してるんですけど。まあいい。荷物おいてとりまりビングへ。子どもたちとトム&ジェリー鑑賞に。おもしろい。ほかの家の子どもとかかめとかも混ざってトム&ジェリータイム。挙げ句かめはソファで爆睡。しばらくしてすることなくなったらとりま村のメインストリートへ。子どもたちに流され学校へ。パワーがスゴい。若いっていいね。ほんと。晩ご飯のときにはNoi-noiが迎えにきてくれて手をつないで帰った。帰ったら帰ったらでひいちゃん（おとしの参加者でホストが一緒だった）の話でPapaと盛り上がりたり、ご飯のあとでPS2のやり方教えてくれとか（おれができるのはfootball=soccerでNFLとかアメフトは知らんって）。そんなこんなでめまぐるしい日々の訪れを感じるのでありました。

乙丸知佳子

ちこです(´・ω・`)★この日はファームに着いて泊まった次の日でした！私達の村は朝から川に行って大きな石を袋いっぱい詰める仕事を手伝いました。ずーっと働きづめで、やっと袋を三つぱんぱんにしたけどそれは飴玉一つ買えるか買えないくらいのお金しかもらえないようです。それでも文句も言わずにひたすらに石を集める村人の姿を見て、感動するというよりただただすごいな、と思いました。その後、広場・牧場のような場所でホストが作ってくれたお米だらけのお弁当(●^o^●)を皆で食べました。アイスボックスの中身がすべてお米だったのには驚愕(●^o^●)wwロタロタがくれた赤ちゃんのキリロイ用のお菓子おいしかった～(v^`)★

その後草むしりをして、皆と村へと帰りました。帰った後に子供たちと近所のおばさんに連れられてサトウキビ畑へ夕陽を見に行きました。日本では見ることのできない色でした。きれいだった～！その後は毎度のごとくDANCEPARTY！！cニニニ(´^ω^`)ニっだけど今回は違っていた！！フィリピン人にダンスを教えてもらって、テストまでして(笑)なんと明日のさよならパーティーで披露することになったんです(/v^`*)しおちゃん・のんちゃんとずっと踊ってました。今でも踊れるよ！！たん・たん・たんたら～♪あゝの両手をこすりあわしたり、月を見たりするダンスのフリはいったい何なんでしょう(*^_^^*)謎は深まるばかりです。ワカワカも練習しました^^

でもあのボンカラッタラ！の曲のタイトルがわからないのがもやもやします><だれかあの曲のタイトルわかる人おしえてくださ～い！

そんなこんなで、この日もファームでは楽しくて有意義なすてきな一日を送ることができたのでした。ちゃんちゃん L(^o^) 三

植田 佑

ファーム2日目。庭で飼っている鶏が夜中だろうが明け方だろうが勇敢な雄たけびをあげるので全く熟睡できなかった。となりでケントウイがいびきをかいているのが信じられない；。ファームでの初めての朝ごはんはマニラのホテルよりもおいしくて、なにより食後に出てくる熱いくらいのココアが興奮して落ち着かないお腹を和ましてくれました。この日、最初に見学したのはシュガーケーン畑。どこまでもどこまでも広がっているサトウキビ畑での収穫作業はとても過酷で一日働いてもほとんどお金にならないときいて普段何気なく使っている砂糖のありがたさを感じました。その後、もうすこし先にある川で道路を造るための石をひろいました。ひたすらひろいました。少しお腹が減ったなと思ってるとGKハウスに移動してママがもたしてくれたお弁当でランチ!!だけど、この後日本人メンバー全員がフィリピンで「もうお米見たくない」と言うことになるうとは思ってなかった...

何人かの村の子供達もついてきていて彼らがGKハウスで遊んでるのをうとうとしながながめていた屋下がりの午後。とにかく気持ちいい!!そして草むしり・・・そんなひと時が終わるとまた村に帰って子供達と遊びました。夜は誰かの家でカラオケ、ダンシング、酒盛り、谷さんがPS2をしてるのを子供達と眺めたりして10時すぎに就寝。この日は鶏の妨害もかまわず爆睡しました。

亀谷由太

今日はよく寝れなかった。寝てる途中で鳥が鳴きだすし、扇風機が効きすぎてめっちゃ寒かったし、虫に刺されてかゆいし。でもこれがフィリピン。日本じゃもの足らず、ここに来たんならこれくらい我慢しろや！
と言い聞かせて朝飯を食べ、学校に行った。

子供たちに日本の文化を伝える授業をするためだ。あいさつから始まり、ダンスして歌ってゲームした。盛り上がったと信じよう。ゲームは椅子取りゲームをした。結局一番を決めたけど、これが良かったのかどうかは正直不安だった。でも日本の最近の流れはおかしいと思った。かけっこで一番を決めない。やっぱり競い合って切磋琢磨して人間は成長していくと思う。

そして授業を終え、ファミリーの家に帰って昼食。ステーキ的なのが出た。多分精一杯の贅沢品なんだろうな。お腹いっぱい全部食べきれなくてごめんなさい。その後バイクで市街へ。教会行ってアイス食べた。市街の雰囲気は怖かった。あと魚屋の匂いが半端なかった。あの場所で食事ができる人たちを本気で尊敬した。慣れたら俺にもできるかなあ？

帰ってきてファミリーに手紙書きながら、パーティーの準備を待った。パーティーは本当に楽しかった。日本人メンバーやそのファミリーやそこらへんの子供たちが全員集合した。飯食って、ダンスしたり歌歌ったり。塩谷のダンスに爆笑し、おかまちゃんたちのパフォーマンスにくぎづけになり、団長の青い袋に驚愕した。（注青い袋事件は不適切な表現が含まれるので、知りたい人は直接亀谷まで聞きに来てください）最後にみんな一言ずつスピーチ。何度も泣きそうになった。パーティーが終わり、帰るときにオリバーにマンUのユニフォーム（亀谷のサインつき）をプレゼントし、ジェームスにサングラスをあげた。三日間の思い出がこみ上げてきて涙が出た。泣いてる所をいじられたくなかったから、サングラスをかけて家の陰にいたら、案の定ガキどもが冷やかに来た。めんどくせーと思ってたらガキの2人も目に涙を浮かべてて、より涙が出てきたじゃねえかよ。言葉もうまく伝わらなかったはず。でもこいつら泣いてくれた。同じ気持ちになってくれた。すごいことだなと思った。思いっきり走り回って、じゃれあって、笑いあって、言葉を超えたコミュニケーションがちゃんと成り立ってたんだなあ。

この村での三日間は今回のExの中で最も思い出深い。

こんな英語が拙かった俺を受け入れてくれたインダイー家、道で酒を飲みあったおっさんら、一緒に走り回った生意気なガキども、一緒にこの村を楽しんだ、たにい・塩谷・あゆみ・畑ちゃん・だゆう・まな・まよ・のんちゃん・くっすん・ちこ・やえちゃん・マイケルさん・かほちゃん、彼らのホストファミリー、陽気なカル口、この村で関わった全ての人たちのおかげでこの三日間があった。本当にありがとう。

この村は最高だった。俺もこの村人みたいに人に優しくなろう。

本日も晴れ。今日はファームで過ごす最終日。朝は鶏の声で起きました・・・眠い！！でも私が家族の中で一番最後。家族におはようを言いながら朝食を食べます。これも今日で最後かぁ・・・。食べたらみんなと合流して小学校へ！みんなと授業をするのです(*><)そこでなんと日本人と遭遇！！Σ(´▽`)JICAの方だそうです！2チームに分かれて教室に入ります。今回教えたのは簡単な日本語と椅子取りゲーム。みんな一生懸命に椅子の周りをぐるぐるぐるぐる。気づいたら窓やドアの所に子どもが鈴なりになっていたり、めっちゃかわいかったです(\*´u`*)授業が終わるといったん休憩。その間にJICAの人とお話ししました！ラーメンを固めた？おやつと共にwおやつも食べてさあ！お昼だ！！...フィリピンではおやつを二回食べるそうです。お昼は一度家に帰って食べました。ジャンジャン(家の男の子)と共にお昼です。まったりーして1:00ごろ町に出発！教会、市場、アイス屋さんwに行って再び帰宅。ふたたびまたーり。この時焼きバナナなるものを食べました(・ω・*)ウー!さらにウッディーパパにこっちの言葉を教えてもらいました♪ファーム中一番会話が弾んだ気が・・・(・ω・;)さあさあ夜の準備です！まつりだぁー！！ということでフェスタ！家族に手紙書いたりで準備して、本番を迎えました。各家庭からご飯を持ちより、ダンスしたり歌ったりと楽しい夜でした。最後の最後に雨が降りましたが、雨の中踊り始めたりw今日でお別れかと思うとすごい特別な日でした。みんな優しくて親切で。楽しかった！！！！(*´▽`)♪

鳥丸 大貴

この日はファーム出発日。前日飲んだ酒が抜けてなくて目覚めは最悪。起きた時にはすでに先発組はおらず、自分自身出発まで20分ぐらいしかなくて遅刻してしまいみんなに迷惑をかけてしまった。

そして二日酔いのまま飛行機でBacolodへ。空港到着後、去年のST以来久々にKarlaに再会。

その後はcity hall訪問、来比後二度目のINASALでの昼食、市内観光をしてからいよいよファームへ出発。延々と続く田園風景の中をバスに揺られていったのだが、バスに窓がついておらず、風が吹き抜けていくので非常に心地よかった。

途中で後発組の半数と別れ、さらにバスに揺られる中、不安と楽しみが交錯していたが、到着してすぐ、バスケットコートが目に入って不安は吹き飛びテンションは最高潮に。

到着後はまず最初にコミュニティの教会で自己紹介、そして各々のホストが発表された。うちの家族はお父さんとお母さん、そして中学生の女の子と、同じく中学生の弟の4人家族だった。また自己紹介のときから本当にたくさんの子供がいて驚いた。

自己紹介後はいったんホストの家へ行き、少し話をしてから広場へ行って他のメンバーや子供たちと遊ぶことに。はじめに日本人対フィリピン人で5on5をしたけれども惨敗。そのあとは後先のことなど考えずに全力で走りまわった。子供たちはみんなスキンシップが大好きで、常に誰かが体のどこかくっついていて。

夜まではしゃぎまわってから帰宅して晩御飯。ずっと気になっていた酸っぱいスープの味付けの謎がようやく解明された。聞いたところ酸っぱい果物が入っているからだそうだ。料理自体は焼き魚やごはん、酸っぱいスープなど色々あったが、どれも本当においしかった。

晩御飯後はお母さんのはからいで、お父さんはじめ親族のおじさんらが集まって飲み会をしているところに参加させてもらった。日本とフィリピンの物価や収入の違いやフィリピン人らのホスピタリティについて、そして日本語についてなど、かなりたくさんのことを話した。おじさんらの英語は子供たちに比べずっと訛りがきつく、聞き取るのになかなか苦労したが、この頃にはだいぶフィリピンの訛りになれてきていたので、ある程度は普通に会話ができた。『万歳』の意味を教えるとたくさんのビールを買ってきて、「これを全部飲みきって万歳するからそれまでは寝かせんぞ」と言われたが、さすがに次の日の朝が早かったのと、日中全力で遊びすぎて疲れていたのもあって相当眠たかったのも、そのことを説明してなんとか寝かせてもらってファーム初日は終わった。その夜は扇風機の風をガンガンに浴びて寝たので、翌朝風邪をひいてしまっていた。

小山啓介

ファームでの二日目の朝。鶏の鳴き声で起こされる。泥のような眠りからなんとか自分の体をリビンゲへ。

ファームのファーム所以たるサトウキビ畑へ収穫のお手伝い。俺自身の足の臭さかそれ以外の理由か定かではないが、異常に足が痒い。痒い。

トラックの荷台に乗り、野生の風を感じながら川へ。大地と一つになるとはこのことかと実感した体験。

その後はホームステイ先で杯を交わしながら、ゆったりと流れるフィリピンの夜風を感じながら、時間が過ぎるのを待った。

潤井亜紀子

朝ごはんを食べた後、お母さんに連れられて、むかうはサトウキビ畑。それがだいたい6時半。その日の女性の仕事は肥料をまくこと。肥料が届くのを待つこと30分。その頃には、だんだん日が昇ってきて、少し汗ばんでくる。女性はみな、袋を腰に巻き、手には少し長い棒を持って準備万端。袋に肥料をたっぷり入れて、まき始めた。一歩進み、棒で土を掘り、肥料をまく。また一歩進んで…。とても広い畑に数日かけて肥料をまく。日本なら機械を使うところだろうが、フィリピンでは手作業だ。とても気の遠くなるような作業だと思う。その作業を見ながら、私はサトウキビを食べていた。なたで切って、皮をむいたものを持ってきてくれた。その1本のサトウキビが、お母さんたちの一歩があって育ったものだと思うと、申し訳ないような気持ちになった。10時頃、家に戻ると、お母さんがスナックに、蒸したお米のようなものを用意してくれていた。私はまだ、このスナックという習慣に慣れていなかったため、朝ごはん、スナック、昼ごはんという立て続けの食事ですぐに満腹だった。お昼ごはんのあと、少し休みなさいとお母さんが言ってくれたので、小一時間眠った。昼寝の後は、親戚のAngelと遊んだ。Angelはまだ4歳くらい。あれやこれやと色々なことをしゃべってきた。ノンストップでしゃべるのは、日本の小さいこといっしょだな、となんだかほほえましかった。夕方になり、お母さんが畑仕事から帰ってきた。朝早く仕事を始め、お昼にごはんを食べるため一時帰宅、そしてまた、炎天下の中畑仕事、本当にハードな仕事だな、と感じた。帰ってきたお母さんは、休む間もなく晩ごはんの支度にとりかかる。晩ごはんには揚げた魚、お肉を煮込んだスープ、なすの素揚げ、ごはんなどが並んでいた。フィリピンでは、揚げ物と煮込みスープをよく食べた。ごはんの後、ようやくテレビを見ながら一服。常にゆっくりとした時間が流れるこのファームでの一日は、とても長く感じられた。

福井千聖

ファーム二日目。

朝から畑に行く。朝早く起きて農作業のお手伝い。ドキドキだったけど畑に行ってみると渡されたサトウキビをひたすら食べて終わりました。帰りにアリに噛まれて痛くて日本に帰りたくなった。それから小学校に行ったらちょっとだけ授業した。日本のアニメキャラについておしえてあげた^^アンパンマンは食べれるって話したら子供たちが若干引いてたかな？それから外に出でエイサーと八嶋の創作ダンスを伝授！小さい子たちに色々説明するの大変だったなあ・・・あとあと、子供たちから初めてラブレターとお花をもらいました！照れながらわたしてくる姿が可愛い～*><*

午後からは高校訪問。八嶋氏が500人の生徒の前でジャスティン・ビーバーのまねして会場を沸かせてくれました。たいきは体張るし、大地は立ってるだけでウケるし、男子陣が大活躍^0^そして外国でのフェイスブックのはやり具合に驚いた。どこ行っても聞かれる！帰りはトライシクルにまさかの17人乗り！壊れないか不安だった～。夜はお向いさんのおうちでうだうだ～。パソコン日本製だった。お金持ちなんだなあ・ω・ステイ先のおばあちゃんに迎え来てもらっておうち帰って就寝。かわいいベッドでおやすみなさい。そんな感じの3月3日でした★

March,4 ~FarmB~

米本千紘

ファームで朝を迎えた。この日はトラックの荷台に乗せてもらってサトウキビ畑に行った。

トラックの荷台は風を感じてとても気持ち良かった。カラバウという牛がいてそれにも乗せてもらった。牛に乗るのは多分初めての体験だったと思う。

帰ったら子供たちと鬼ごっこをしたりして遊んだ。夕ご飯は、前日にホームステイ先のママがどんな料理が好きか聞いてくれてそれを参考に作ってくれた。

テレビを見たり子供と遊んだりまったりしながら過ごして就寝した。

安保夏絵

この日はファームに来て3日目でした。メンバー7人で小学校に向かい、授業を見学したり子供たちと軽く交流したりしました。教科書を見ると日本の大学受験の問題に出てきそうなパラグラフがたくさん載っていて少し驚きました。教科書がタガログ語などではなく英語であったのがとても印象的です。いったんまたファームに戻りみんなでお昼を食べた後、買い物に出かけました。食卓ででたマンゴーが好きすぎて果物を買いました。このわずかな時間にホストシスターのRemyが万麗夜と私へのプレゼントを買ってくれていたみたいで、次の日感動したのを覚えています。私たちを出会った瞬間から『私の娘たち』と呼んでくれたママや遊んでくれたホストブラザー、お世話をしてくれたシスター、タガログ語でなぜか意思疎通したおばあちゃん、おじいちゃんと離れるのが本当に辛かったです。なので、夜はホストファミリーと写真をとにかくたくさん撮りました。何度か家族から「貧しくてごめんね。」と申し訳なさそうに言われたけど、私にとってはとても居心地がよくて優しい家庭でした。

March,5

太田麻菜美

この日は朝3時に起きて、バスでお世話になったドゥマゲッティからバコロドへ移動！！

しかし4時間で着くと言われていたのに結局6時間の長旅に・・・ww バスからフィリピンのさまざまな風景を見ることができたからこれもまた思い出^^ 数日ぶりにもう一方のチームと合流して、DMI大学の生徒とランチ！！それぞれのホストと行動することになり、私は日本人6人フィリピン5人の11人でプールに連れてってもらいました^^ そしてこの日の夕食はチキンに対して、ご飯の量が多すぎるケンタッキー・・・ww

バコロドでの1日目でした♪

ファーム生活ラストの日><朝食はいつもよりも豪華だった!!!
近所の子たちとバイバイしてみんなのところに行ったら、めっちゃ人が集まってた!!!
しょーたさんたちは既に泣いてましたww
いっぱいいっぱいありがとうって言って、子どもたちの腕に名前書いてバイバイ。
バスに乗ってママの顔見たら、もうほんとにお別れなんだって思って泣けてきた(;_;))

バスに1時間ほど揺られて街まで。みんなや現地の大学生と合流してOpening Ceremony!!!
ホストの発表の後ゲームして解散。

私とまよとけいじさんは2時間ほど店で待たされましたwwレポートがあったんだって。
ジブニーとトライシカルを乗り継いでホームステイ先の家まで!!ファームと変わらないクオリティでした。期待していた分また風呂桶生活かーと思ったらちょっと、いや結構ショックだったけど、家族があったかくてなんぼか救われた><
夜はトネとおしゃべりしたり、ママのお店に行ったりした。この辺では日本人珍しいらしいねー。みんなはどうしてるんだろうと思いながら固いベットで横になりましたとさ☆

March,6

八嶋勇人

この日はホームステイの学生と一日過ごす日でした。
私達はこの日を午前中はマーケット、午後からは教会に行って過ごしました。
マーケットを回るだけでも日本とは違う文化を感じる事が出来ました。
よくも悪くもご飯に蠅が停まっていたり、移動手段の乗り物も日本では考えられないものばかりでした。
教会では素晴らしい歌声、神聖な空間。本当に異世界に迷い込んだような経験をする事が出来ました。
そしてなにより、フィリピンの人達はどこに行っても気さくに話しかけてくれるし、優しくしてくれました。私にとってこの一日は感謝と感激の連続でした。

有方慶江

3月6日は日曜日でした。私のホストシスターはクリスチャンなので朝起きてから協会に行きました。初めての教会の集会だったのでとても緊張しました。約1時間の間には皆でゴスペルを歌い、牧師さんの説教を聞いて、最後にはパンと葡萄酒をいただきました。ゴスペルを歌っている間は会場にいるほとんどの人が涙を流しながら歌っていて、たいへんな熱気でした。集会が終わると近くのモールへ行きジョリービーでお互いの大学について話しながらバーガーを食べました。そのあとはゲームセンターで遊んで、本屋さんへ行って本を買いました。午後はホストシスターが良くお世話になっているという人の家にお邪魔させていただきました。日本について興味を持っている夫婦と、元気な2人の子供がいました。日本の都会の様子や携帯電話、学校やフィリピンでの出来事などについて話して、とても楽しい時間を過ごしました。子供も元気で可愛らしかったです。晩御飯をモールで食べて、海を見に行きました。夕日がとてもきれいでした。家に10時に着きました。新しい経験を沢山得れた最高に楽しい日でした。

高木理沙

起床。私のホストはex期間中に寮に滞在していて、学校から近い場所にいたためゆっくり起きることが出来た。朝食は学食で食べた。結構食べたけどすごく安かった。そのあと、日本人メンバーと合流した。最後に会ってから少ししか時間が経っていないのにすごく久しぶりに会ったような気分になった。みんなのホームステイ先での話はそれぞれ違って面白かった。そして、日本人メンバー全員で蒸し暑いバスに乗り、最初に博物館へ行った。現地の方が1つ1つの展示品に対して丁寧に説明してくれていたけれど、暑さと疲れで皆あまり説明を理解していないようにも見えた。興味深いものがたくさんあり勉強になった。この日、お昼ご飯は海の前にあるシーフードのお店で食べた。美味しかったし、フィリピンに行ってからとにかく肉、肉、肉という食生活を送っていたためとても嬉しかった。また蒸し暑いバスに乗り、学校へ向かい、ホストシスターと一緒に授業を受けた。1つ目の授業は哲学でわかりやすく授業してくれていたので何となく理解することが出来た。しかし、2つ目の授業は数式を使っていたりして難しくてさっぱりわからなかった。おそらくあれが日本語でも理解できなかっただろう。そして授業後、フリスビーを体験したりしてから寮のメンバー全員でご飯を食べに行った。また肉だったけれど美味しかった。寮の女子部屋は自分以外フィリピン人の子しかいなかったけれど、英語が上手く通じなくても理解しようと必死になって話を聞いてくれたり、常に話を振ってくれたりするのですごく楽しい1日が送れた。「きっと疲れたでしょ、早く寝た方がいいよ」という同じ部屋の子の優しい言葉を聞きながら1日が終わった。

前栗蔵 志帆

Philippines.exが始まってもう7日目。そしてBacolodに到着して3日目。

だいぶホストの英語やジブニー、トライシクルにも慣れてきて、フィリピンライフを楽しめてきた気がする。

今日は大学付近のミュージアム→ランチ→ショールーム（おみやげ屋さん）→学校、といった感じ。

ミュージアムではPhilippinesの歴史を感じさせる絵画や道具が展示されていた。狩りをしていたり、病気（出産！？）の治療の様子だったり、まるで歴史の教科書を見ている感覚だった。世界各国から贈られた人形がたくさんあって、小さい島国なのに多くの国と交流していることを知り、フィリピーノの友好的な国民性は昔からあったのかなぁ、と試してみたり。1つ気になったのが、絵画の色が鮮やかなこと。フィリピン学生に聞いてみたら、フィリピーノは“派手”なのが好きなんだって。最後にミュージアムの外で集合写真が撮れて思い出がまた増えました。外に怪しげなスイーツを売ってるお兄さんが・・・フィリピン学生に勧められ買ってみると湯豆腐に黒蜜をかけた感じでした。

ランチでシーフードを食べに行ったら、道のりが険しいこと険しいこと。車酔いするメンバー続出・・・でもフィリピンメンバーは誰も酔わず。フィリピーノは車酔いに強いのかなぁとふと疑問に思った。険しい道のりを乗り越えて、爽やかな空と海、おいしいシーフードを堪能することができました^^

帰りにおみやげ屋さんによって、アクセサリやお菓子、調味料など束の間のショッピングタイムを楽しみました。

大学に戻ってから、授業に参加する人もいれば、ホストとショッピングに行く人もいました。私はホストを待ってる間、学校のフードコート的なところでハロハロ食べました。やっぱりお店によって全然違う！その場所のハロハロを食べてお気に入りを見つけるのも面白いかも。私はホストと、彼女の友達とジブニーとトライシクルを乗り継いで家に帰りいろんな話をしました。フィリピンの学生生活を肌で感じられて、楽しかったな♪

March,8

宮脇将太

フィリピンで八日目の生活、朝大学に集合して、いざビーチに!!この日に備えて寮組の男性陣は前日の夜に筋トレしました。中でも一番気合いが入っていたのは団長のくっすん。無駄毛処理にも抜かりのないくっすん。ビーチまでは途中から船で!!島に着くと、真っ白な砂浜!きれいな海!日本の離島とか比べ物にならんくらい、きれいでした。みんなが日焼け止めを塗る中、一人サンオイルを塗るくっすん。いざ、SWIMMING! 海に投げられたり、投げたり!フィリピーノ投げたら、ガチギレされました(笑)この日のお昼ご飯は、またもやchicken or pork。でもおいしかったです!ご飯食べた後も泳いだり、砂遊びしたり。ビーチ、はしゃぎまくりました。ゴーグルずっとつけてたし、顔だけ日焼け止め塗ってなかったから顔面くっきりゴーグル焼け。そして、全身重度のSUN BURN。これにはかなり苦しみました。

ビーチから帰ってからは、寮組でご飯に!!むっちゃオシャンティなとこやったし、ごはんもおいしかった!食後は、二日目のICE!行く途中で、道路を横断中、車道確認してなかったからガチで車にひかれかけました。ほんとに死ぬかと思いました!飲んだりライブを聴いたり!!

8日目は朝からずーっと遊んでむっちゃエンジョイしました!

工藤 眞世

今日も最高な快晴でまさしく海日和でした。朝7時半にUSLSに集合してまずバスで移動!朝の集合が早かったためにバス内では皆爆睡~隣同士がぎゅうぎゅうで、車内が蒸し暑い中まあよく寝てました(笑)途中道に迷った?みたいになりながらもなんとかボート乗り場に到着★そこからは2つのボートでLakawonビーチへ出発!ボートでは話したり、写真を撮ったり、あっとゆうまにビーチに到着★綺麗なビーチにテンションがあがって皆子どもみたいにはしゃぎまわりました!昼食はいつものチキンかポークにライス(^^)お菓子もジュースも美味しかったです!!準備をしてくれたUSLSの大学生たちの本当感謝でした!散々ビーチで遊んで焼きまくり、3時にまたUSLSへと戻りました。皆こんがり焼けて、まるでフィリピーノ(笑)そこから各自ホストファミリーとの自由行動*私はSMモールで買い物してからホスト先へと帰りました。この日はホストファミリーと最後の夜で、私はホストファミリーと写真を撮ったり、ビンゴゲームをしたり、内緒で買った写真たてをプレゼントしました。喜んで貰えて凄く嬉しかったです!!お風呂では背中の日焼けが半端じゃないくらい痛かった(泣)8日目も素敵な1日でした♪ LOVE PHILIPPINE*

楠本 真弘

今日は朝起きて、まず食堂でガッツリ朝飯！とりあえず食いすぎた。その後NGOの方々の貴重なお話を聞いた。マラカスという笑いの象徴みたいな飾りをもらって内心超テンション上がった。一生大事にしよう。そして外に出て意味分からんくらいでかいピザ登場！めっちゃう良かった！それから部屋戻って荷物まとめてバスに乗り超高級ホテルへGO！！またCarloと同じ部屋やった！着いたあと集合まで時間があるから屋上のプールに行っておセレブ気分日光浴したり泳いだりしてのんびり過ごした。その後みんなで集まってAKBの練習。超むずくて全然ついていけん～！そして待ちに待ったフェアウェルパーティー！とりあえず飯うますぎた！んでおもしろすぎた！無茶ぶりスピーチと無茶ぶりダンスにはまいったけど（笑）バックダンサーの時なんて恥さらしでしかなかった（笑）ソーラン節のラストにブーメランの海パン一丁で前出て行って「ウォーーーーー」で叫んだん成功！でもたぶんフィリピンの女の子達かなり引いてた(笑)とりあえずめっちゃ楽しかった！パーティー終わってから、みんなでクラブICEへ行った。何気に3回目～(笑)最初パートナーのAceとの別れが寂しすぎて、人生で一番泣いたんちゃうかってくらい泣いた。でも最後やし楽しみな損やから、みんなんこ行って逆に人生で一番はしゃいだんちゃうかってくらい気狂いながら踊った！ヤッシーがテンション上がって上の服脱いだんはいいけど、スタッフに怒られて静かに服着てる姿見て爆笑した（笑）クラブ出てからまた泣いてもた。俺めっちゃ泣き虫ということに気付いた！もっと強い男になりたい！そのあと部屋もどって即バタンキュー！バコロドでできた友達たちとはこの日でお別れでめっちゃ寂しかったけど、みんなでいっぱい笑って、いっぱいはいしゃいで、いっぱい泣いて最高の一日やった！！この日のことは一生忘れん！！

福本優佳

今日でBacolodとはお別れの日。朝からさみしいな...と思いつつ、KarlaとEulaとご飯。そしていざ、大学へ。NGOの方のお話を聞きました「。当たり前ながらEnglishwPhilippineには助けが必要な子どもたちはたくさんいて、Negrosでは栄養失調を抱える子どもが一番多いとのこと。どこに住んでいても、学生でも、少しでも役に立つことはできる！私たちにもできることはあります。

St.Lasalle の校長先生から、Bacolodのマスカラ祭のお面ネックレス← 頂きました♡♡

お昼は大学テラスでpizza食べた。美味わず。；）バスが来るまで踊り狂った～

そして移動してL fisher's hotelへ。Bacolodで一番いいホテルだけあっていい感じ＊Reyに車でRobinsonモールまで連れて行って貰って、現地での最後の買い物を楽しみました。ホテルに戻ってからは文化紹介のダンス特訓！ふへへ:^)

ついにやってきたFarewell party.最上階でご飯を食べつつ、楽しい時間を過ごしました。おもしろい写真もたくさん撮れたし、ダンスも盛り上がった！KarlaとAgustinがグアバ、マンゴー、家族へのプレゼント、Karlaと私の写真入りマグをくれて嬉しかった：）！！時間はあっという間に過ぎて...朝早いから就寝組とクラブICEで踊っちゃう組に分かれました。あんな踊ったの初めて＊別れが惜しかった。ずっと踊っててもよかった～疲れすぎたけど;^)

ホテル戻ってシャワー入って、結局30分寝たかぐらい？3時半には起床してました♪

March,10

塩谷直大

ちょっと休憩したあとおきる。屋上に行って1人でタバコ吸ってた。今日でホンマに終わりやなあとか1人考えててちょっと悲しかった。そのあとやえちゃんと探し物をして、なんや片づけをしてロビーへ。亀谷さんと例の話。「運命ってあるんやなあ」まあ亀谷さんらしい話やし、このときは分からんでもなかったな。それで空港へ出発。車中みんな疲れとんのに妙なテンション。乙丸さんは終わってたw。谷さんはあきれてたw。さきちゃんはおかしかったw。のんちゃんにはいつものように失礼でしたw。マニラへ飛んだあとは1日目のホテルへ。みんなでカフェに集まってフィードバックの時間に。安保さん・さきちゃん・乙丸さんと一緒にテーブルに座る。このツアーを通して感じたことなどをみんなが発表しているのを聞いて、みんな色々と考えていることに気づく。自分も自分なりに感じたことはあったけど、もっと来る前に勉強しておけばもっともっと理解できたコトがあるんじゃないかと思うとチョット悔いがのこった。んで乙丸さん、さきちゃんとのしょーもないやりとりwてかボクがしょーもないだけなんやけどw自分のEX中の印象さいあくやろうな(笑) まあおもしろかったらなんでもイイや〜♪　それでそのあとはマーディーさんのストーンスープの話。これも1つの交流なんかなあとか思った。でカル口の話には泣きそうになったな。最後らへん話し聞くどころじゃなかったし(笑)　てかホンマにこのメンバーでよかったよね。ホンマにこのメンバーと一緒に過ごせてよかったよね。ホンマにみんな

DOKASITERUZE!!!

ってまあ言いたかっただけですハイ(笑)　てなことを1人プールサイドで思ってた。

んでくっすんさんへのプレゼント・あいさつとかあった。いや〜よかったですね。団長お疲れ様でした♪　そうして無事にExが終了しました。何人かずつお別れしていくんがさみしかったなあ。。。まあいうて日本人メンバーとは日本で会えるし、フィリピンメンバーともfacebookで連絡取れるんやけどさ^^;　でもこのメンバーでこのExを楽しめたことが何よりも素晴らしいことやったよね♪　だってチョット思いだすだけでいっぱい思い出があるもん。ほんまに1日1日の1場面ずつを鮮明に思い出すことができる。それを感じて自分が経験したことの素晴らしさが改めて感じられる。。。。

ホントに、この時間を共に楽しく過ごすことのできた、そしてこの時間を楽しいものにしてくれたみんなに感謝します。

いつかまたみんなと集まれる日を祈ってます♪♪

じゃあね♪

I always wish you joy and happiness .
Please take care.

岡本夏実

最終日は朝4時起き...片付けを急いませいかホテルの部屋には忘れ物がたくさん（笑）全員で初日に滞在したマニラのホテルに向かい、みんなで食べる最後のランチ。かめさんの粋なサプライズもありプログラム終了。そのあと私は日本に帰国...フィリピンでの生活が濃かったせいか帰国しても全然実感がなかった>く
フィリピンでたくさんの人と出会って、フィリピンメンバーと仲良くなれてよかった！！

AFTER @ BORACAY

工藤 眞世

九州支部1回生の4人組まなみ、ちさと、まりや、私の4人でボラカイリゾートツアー！他のアフターボラカイメンバーがいなかったら私たちだけではやっていけなかったです（笑）本当皆に感謝！プログラム終了後、国内便でマニラからボラカイへ！空港で荷物のお金をたくさんとられ半泣きでした・・・（笑）着いてすぐにお店で4人揃いのリゾートワンピースを買うところからスタート！！リゾート満喫しまくり（笑）色んなフィリピン料理を食べ、スイーツを味わい、ショッピングしまくって、ヘナタトゥーを入れ、スパに行き、マッサージ、ネイルのケアしてもらって、スキューバダイビング楽しんで、クラブとバーをはしご（笑）海で夕日を見ながらたそがれたりもしました＊ 最終日の出発が朝4時とかだったのでクラブから寝たら起きられないと思い、4人海で語り明かしました！ THE青春！（笑）かなりバカンス気分満喫できました！また行きたいです(^q^うふ

テーマエッセイ

Theme Essay

「ストリート・チルドレン」

楠本 真弘

マニラ空港からタクシーでホテルへ行く途中の信号で、小さい少女が窓から笑顔で喋りかけアクセサリーを売りつけてきた。僕はあの時に受けた衝撃を決して忘れない。

フィリピンには現在150～180万人のストリートチルドレンがいるとされ、そのうち120万人は首都マニラにいます。そして1日の収入は20ペソに満たないと言われています。実際、マニラの至る所に彼らは存在していました。中には飲食店のドアの開閉をしながら物を売ろうとする子もいました。しかし大人達はドアを開けてもらっても、その子をいっさい見ないで当たり前のように通っていくのです。そこには「ありがとう」という言葉はありません。こんなことがあって良いのでしょうか？フィリピンではそれが普通になっているのかもしれないが、日本で生まれ育った僕は決してこんな事があってはならないと思います。彼らは毎日常にHIV、ドラッグ、暴力、犯罪などの危険と隣り合わせという環境の中で、とにかく生きるために働いているのです。日本の子供たちは毎日十分に食事をとり、学校に通って様々な事を学び、そしてそれぞれが夢を持ち大人になっていくというのに。

ストリートチルドレンの背景にはたくさんの複雑な事情がある。家庭内の貧困や虐待、国内の経済状況、失業率の悪化、政府の経済発展重視などである。これらが絡みあって大きな問題へつながっていると言われている。はっきり言って「だから？」と僕は言いたい。複雑な事情が絡みあっているからストリートチルドレンが生まれるのは仕方がない？そんなのお金に目がくらんで周りが見えていない大人たちの言い訳にしか過ぎない。なぜ目の前に苦しんでいる子がたくさんいるのに何もしようとしないのだろうかとても不思議だ。確かに僕が日本でこのような事を長々と言うのは簡単で無知かも知れないが、決して間違いではないと思う。何かできることが絶対にもっとあるはずだ。今回僕はフィリピンで初めてストリートチルドレンに出会い、衝撃を受け、何かしなければと思ったが、無力すぎて何もできなかった。自分は本当に愚かだと感じた。しかしこの衝撃が強く胸に刻まれた今、僕は何かできるはず。この経験を決して無駄にしないで生きていきたいと思う。

ファームにおける光と影

植田 佑

私にとってこのExは初海外で全てが衝撃的かつカルチャーショックの連続でしたが、なかでも最も印象的だったのがマニラ、バコロド、ドゥマゲッティのファームとどこにおいても貧困が存在していたこと。ファームの生活はExで最も楽しい体験であるとともに最も考えさせられる場所でした。

先に述べたようにファームにも貧困はあります。私たち日本人がステイした家庭は裕福な家庭にはいるのだろうが、私がステイした村の端っこには本当に申し訳程度に建っている貧しい家がたくさんあった。周りには広大なサトウキビ畑が無然と広がっていて彼らのほとんどはそこで働く小作人。一方、裕福な家庭は小さいながらも自分の土地を持っていてプランテーションを営んでいる。つまり、この村では貧しさから抜け出すのがとても困難で彼らもあまり期待していない。私の家にはいつも周りの貧しい家庭の子供たちが遊びにきていた。確かな格差がある中で子供たちだけは貧困に縛られておらず共に村の小学校で遊び、夜になると裕福な家に遊びにいったダンスやカラオケを楽しんでいた。しかし、彼らも大人になるにつれて貧困という解けることのない鎖に縛られてしまいます。

戦後、日本は急速な発展をとげてそれまで確実にあった貧困格差が縮まっていき、現代ではほぼ格差は感じられなくなっています。大部分の人が好きなときにショッピングを楽しみ大学へ進学します。私はそんな生活を当たり前のように過ごし最も大切な人との関わりといったものに盲目になっていたのかもしれませんが。フィリピンExに参加することでこういった基本的な喜びを再発見できました。

日本とフィリピン感覚の違い

鳥丸 大貴

「ああやっぱりここは日本ではないんだな」

多くの参加者がこう感じたのではないだろうか。当然、気候や街の風景等、外的に日本と異なるものは多く存在した。だがそれ以上に、もっと内的なもの、つまり人々の感覚に日本とフィリピンの違いを感じた。

まず挙げられるのは『人懐っこさ』。フィリピンの人々は総じてフランクに接して来てくれた印象が強い。Manilaではスタバの店員が話しかけてきた。「君何歳？」などというように大した内容ではなかったのだが日本ではほとんどありえないようなことである。他にも、ファームではすぐに皆と打ち解けることができたと思うし、Bacolodでは、ネームタグを見た全く知らない人に遠くから「Taiki!!」と呼ばれたり、夜の街を歩いているときなどにいきなり「アンニョン!!」と言われたりした。とにかく人懐っこい人が多いのだが、一方で、いざ応じると恥ずかしがるシャイな人が多かった。

他には、『時間感覚』『Filipino time』も挙げられる。これは有名な話だし、予備知識としても知っていたので驚いたわけでもなかったのだが、やはり日本との大きな違いを感じた。例えば、ファームで、次の日は朝の6時半に集合して農業の手伝いをするというので、6時に起きなければいけないから起こしてねという話をホストのお母さんとしていて、お母さんもちゃんと理解していたはずなのだが、実際に次の日、お母さんが起こしにきたのは集合時間を過ぎてからで、理由も「朝ごはんが出来たから」だった。

あとは『思ったことを率直に言う』なとも感じた。ファームでおじさん達と飲んだときにはフィリピン人のホスピタリティをほめてくれと、向こうから言ってきたし、空港等では、直接的に、「チップをよこせ」と言われた。

そして最も大きな違いを感じたのは『宗教観』についてである。さすがは熱心なカトリック信仰国というだけあって、ファームでもシティーでも、どんな宗教を信仰しているか尋ねられた。自分は無宗教論者なので、そのことを言うと「信じられない」と言われた。ファームではお母さんが本当に驚いていたし、シティーではhost brotherに真顔で「キリスト教を信じるといいよ。そうすれば天国に行ける」と言われた。特に後者はかなり強烈に印象に残っている。そのとき自分は、率直に「ああ、この人達は本当に純粋にキリスト教を信じているんだな」と感じた。

この度のEx.ではバックグラウンドが違えば人々の感覚は全然異なってくるというのを強く感じた。またその一方で、そういった『違い』を否定するのではなく、互いに尊重し、理解し合うことが、異国の、異なるバックグラウンドを持つ人と接することにおいて最も大事なのだなと改めてしみじみ感じさせられた。

フィリピンの学生は年齢を気にしている人が多い。フィリピンでは飛び級・飛び入学制度が盛んに行われているからだろうか。私がフィリピンに来て驚いたことの1つに学生のほとんどが飛び級・飛び入学制度を利用していたことがあった。日本でも、1998年に千葉大が高校2年から大学へ進むことができる飛び入学制度を取り入れた。その他にも、いくつか飛び入学を採用している大学がある。しかし、思うように進まずに文部科学省は拡大を見直すことにした。なぜだろうか。学生が能力に見合った教育を受けることができるし、余計な学費をかけずに済む。また学習に対する意欲や得意分野を伸ばすことができる。それに日本では大学全入時代であるが単位さえ満たせば卒業できるため、学習意欲が高くない学生でも卒業資格を取るために大学へ進みモラトリアムを助長してしまうと考えたからだ。それにもかかわらず日本で飛び級・飛び入学が進まない現状として平等主義があるのではないかと思っていた。しかし、飛び級にも色々な問題点があることを知った。学力重視を促進し受験戦争を強化してしまうことや。自分が興味のある分野しか学ばずに、社会性が低くなる可能性があること、大幅な飛び級・飛び入学を行うと人間関係を築きにくくしてしまうこと、飛び級・飛び入学へのプレッシャー等だ。フィリピンで年齢を気にする学生が多いことから通常のペースで進学・進級してきた学生が劣等感を感じてしまう可能性があるのではないかと考えた。私は飛び級・飛び入学に対して賛成派であったが、飛び級の問題点を知り、学校だけが学習する場ではないし学校は学習以外にも人間関係や忍耐力を学ぶ場でもあるため、飛び級・飛び入学を推進しなくても良いのではないかと考える。

『フィリピンと日本の食』

安保夏絵

フィリピンと日本との違いはたくさんあるけれど、その中でも一際違いを実感したのは食文化です。日本人はたいてい1日3食ですがフィリピンでは間食が頻繁にありました。1日で食べる時間の割合が比較的多いと私でも実感しました。主食はお米（インディカ米）です。ですが国内生産量は需要量を満たしていないそうです。ファームの人達は魚1匹に対してお皿いっぱいのお米を食べていました。一方日本では減反された時期もありました。首都マニラで見かけたストリートチルドレンを見たり、大学生が残した食べ物を町の子供たち用に包んでいたりするのを見てフィリピン、あるいは世界の食糧問題について考えさせられました。普段何気なくお米を残したり、捨てたりする私たちに何ができるのか今一度考えなおす機会になりました。

また、個人的に手で食べる文化とファームでの食卓がとても好きでした。春巻きかなと思って口にしたら中身はココナッツミルクベースのお餅だったことがありました。ベースが日本のように醤油ではなく甘い味付けであり、伝統料理はほぼ甘いそうです。フィリピンではこのように新たなたくさんの料理に出会えました。

食文化について

宮脇 将太

フィリピンではご飯が主食です。少し長めの炊いたご飯をそのまま大きな皿に盛り、これにおかずを混ぜ合わせて食べます。西洋人がナイフとフォークを使うのに対して、フィリピン人は通常スプーンとフォークで食事を取ります。左手にフォーク、右手にナイフのかわりにスプーンを持ち、スプーンをナイフ代わりに使い、スプーンの縁を使って切り、食べます。しかし、本当のフィリピンのスタイルはカマヤンと言われる、手を使って直接食べるのが基本です。ファームの生活のときは、実際に手を使って食べました。

朝・昼・晩の3度の食事に加え、ミリエンダと呼ばれるおやつタイムがあります。フィリピンでの生活中は空腹を感じる事があまりありませんでした。

フィリピンには、日本と同様フランチャイズ形式のファストフード店がいたるところで見られますが、その中の代表格はなんと いってもジョリビーです。子供から大人まで絶大な人気を誇っており、マクドナルドもこの国においてはジョリビーにかないません。

料理の味付けとしては、醤油(魚醤)、ココナッツミルク等を使用した甘めの料理が多いのが特徴です。一般的にフィリピン料理と呼ばれている料理はマニラなどのタガログ圏のもので、その他の地方では味付けや種類などが異なります。フィリピン料理はパティスと呼ばれる魚醤やタマリンドと呼ばれる果実汁、ピネガーなどで味付けられたものが多いのが特徴です。

私が感じたのは、フィリピンでは野菜(特に生野菜)をあまり食べていなかったような気がします。肉もしくは魚にご飯といったメニューがほとんどでした。

10日間のフィリピンの生活でフィリピンの料理が大好きになりました。

フィリピンの宗教

工藤眞世

フィリピンの主要な宗教はカトリック教であり、これはかつてフィリピンがスペインの殖民地だった影響です。都市観光をするとそこにはたくさんの教会があり、その建物内のどれもイエス・キリストの銅像などが綺麗に配置しており、何人ものフィリピン人がお祈りをしていました。私はミサが初体験でそのどれもがとても新鮮でした。神父さんの朗読を聴き、歌を歌って、お祈りをしました。教会の椅子に座れない程あらゆる年代の多くの人が真剣に取り組む姿はとても印象的でした。そして最後に列に並んで神父さんがくれる白くて丸い小さなパンをいただきました。これはイエス・キリストの肉片を表していて、口にすることで信仰心を示しているそうです。あとは少々のワインもあり、これはイエスの血液を表しているそうです。ホームステイ先でも家にイエスやマリアの絵があり綺麗に装飾されていました。そして、ホームステイ先でホストママからどこの宗教か、と尋ねられたとき私は何と答えるのか迷いました。きっと私の家は仏教ですが信仰心もそこまでなく、まして自分が何教だとか考えてもみななかったからです。日本は私みたいな人が多く、そもそも宗教に対しての執着心が薄いのだと思い、そのことをママに説明するとすごく驚いていました。そこには文化の違いがあり、世界には色々な国があるのだと改めて実感しました。今まで自分に無かった宗教観を体験し、良い経験ができました。

フィリピン人の国民性について

高木理沙

私はフィリピンEXに参加して実際にたくさんの現地の人たちと出会い接する中で、フィリピン人についてより理解を深められた。出発する前にフィリピン人についてホスピタリティーが強く陽気で楽天的な性格、そしてプライドが高いというところがあるということを知ったが、フィリピンでいろいろな人たちと接していく中で本当にそうだなと感じさせられる場面がいくつもあった。ホスピタリティーが強いというのは訪れる場所どこでも垣間見える部分であった。私はファーム・ホームステイ先ではもちろん行く先々で、現地の人からもてなしを受けた。ちょっと疲れたなと思っているとすぐに「大丈夫？」と声をかけてくれたり、お店で英語がわからなくて困っていても優しく教えてくれたり、常に気を遣ってくれた。プライドが高いという部分は、食事の場面などから感じ取ることが出来た。

私たち日本人のいる前では常に新鮮で現地の人たちにとっては高級な食べ物を出すようにしてくれていた。これはもてなしの心が強いという部分にも共通しているのではないかと思う。また、陽気な性格であるというのは、私のような外から来た人間に対しても関係なしに明るくフレンドリーに話しかけてくれる点から感じ取れた。それに、フィリピンの人たちは音楽が流れればすぐに踊り出すというところにも表れているのではないかと思った。フィリピンEXに参加して、フィリピンについて学び日本との違いも見えてきた。日本人との大きな違いは貧しくても助け合い、また人と人との繋がりが密接であるということだと思った。その中にも礼儀があり、古き良き日本の姿が感じられるようだった。

「家族」

潤井亜紀子

フィリピンで強く感じたこと、それはフィリピンの人が「家族」をたいせつにする、ということ。この場合の「家族」とは、一緒に住む親、兄弟はもちろんのこと、親戚のことさす。

これは、ファームでもBacolodでも感じる事ができた。ファームでは、親戚一同で仕事を営んだり、家を近所に建てたりして、親戚同士が交流することが頻繁にあった。そしてBacolodでは、日本人メンバーに、週末何をして過ごしたか聞くと、親戚に会いに行った、という答えがしばしば聞かれた。私も同じように、ホストに連れられて、親戚に会いに行った。そこで、一緒にテレビを見たり、ネイルをしてもらったり、市場に行き買い物をしたりして、晩御飯も一緒に食べた。そこでは叔父さんも叔母さんも従兄弟もみんな、本当に仲が良かった。私自身、親戚と仲が悪いわけではないが、週末に、日常の話、世間話をしに会いに行くほどではない。そう考えると、フィリピンの人は、家族のつながりをとても大切にしている、と思う。

Child Labour in the Philippines

塩谷直大

このThe Philippines alternative tourを通してMardiさんが私たちに伝えたかったこととして、フィリピンにおける子供の問題があるように感じる。そこで今回は、特にフィリピンでの児童労働問題に関して述べていきたいと思う。

まず世界的にみても、児童労働の統一された定義・基準がなされているわけではない。

国際労働機関（ILO）の「就業の最低年齢に関する条約（第138号）」では、労働を禁止する最低年齢を「義務教育年齢及び、いかなる場合にも、15歳を下回らないもの」とし、「健康、安全又は道徳を損なう恐れのある業務につかせることができる最低年齢は、18歳を下回らないもの」としている。国連の「子ども（児童）の権利条約」や「奴隷制度、奴隷取引並びに奴隷類似の制度及び慣行の廃止に関する補足条約」では18歳未満を対象としている。これらから、従来は、狭く捉えても15歳未満を、広く捉えれば18歳未満が児童とされている。

次に児童労働者数だが、（ILO）が4年に一度、世界の児童労働者数の推計を発表しています。2010年5月に発表されたグローバルレポート“Accelerating action against Child Labour”（邦題「反児童労働行動の加速化」）によると、児童労働者数は、2億1500万人（5歳-17歳）となっている。これは、世界の子どもの実に7人に1人にあたる数である。

フィリピンでは、300万人以上の児童が労働を行っていると言われている。仕事の種類としては多岐にわたり、農業、性産業、漁業、麻薬密売、ゴミ拾い、路上での仕事、児童兵士、物乞いなどがある。私自身、フィリピンのマニラで物乞いの子供たちに詰め寄られたことが深く印象に残っている。これらの仕事には各々に危険が存在し、児童の脅威となるものである。では、なぜこのように児童が働かなければならないのか。それにはやはり家計の事情が影響している。フィリピンでは、全人口の実に70%が貧困層とされており、親が働くだけでは十分な食料や衣服を調達することが難しい現状がある。また、大人と比較して低賃金で済む、反発が少ない、小さな作業場でも作業しやすいといった理由で、雇用側から見ても児童の雇用が好都合なことも、児童労働を助長する結果となっている。次に、このような現状に対しての政府の対応を見ていくと、様々な法の整備や勧告などを行っているが、あまり機能していないというのが現状である。労働者（児童）と雇用者のニーズが合致すれば、それだけで児童労働は成立してしまうからである。実際、児童労働問題に取り組んでいるのはNGOやUNICEFである。これらのグループは、児童保護施設の建設や医療サービスの提供、自立支援などの活動を展開している。しかし、私がNGOの方に聞いた話でも、まだまだ問題の根は深いということであった。

児童が労働に割く時間を教育につぎ込むことができれば、将来的には安定した職に付くことが出来、貧困も減ると思う。そのためにも、現時点で児童が労働をせずに済むように援助し、積極的な教育支援をすることが必要であると感じる。

「驚き」

津田大地

フィリピンはきだった。まずストリートや物売り知ってはいたけれどそんなに見ることはないだろうとおもっていたので、ふつーにいるんだというのは驚きだった。
ファームでは水をかぶるだけというのは驚きだった。

フィリピンの交通手段

畑 安由美

フィリピンに到着すると、車でホテルに移動しました。夜中だったのですが、日本とほとんど変わらない様子に少し驚いたことを覚えています。しかし、翌日街に出ると日本との違いがたくさん見つかり、とても新鮮でした。
まず、フィリピンには信号がほとんどありません。あっても無視です。なので、そこらじゅうでクラクションが鳴っているし、歩行者は普通に道路を横切ります。
それから、自動車以外にもジプニーやトライシクルと呼ばれる乗り物があります。ジプニーは小型の乗り合いバスのようなもので、決まった乗り場も時刻表もなく乗りたい時に合図をして乗り込み、降りたい時に降りるという感じです。トライシクルはサイドカーの付いたバイクで、決して乗り心地がいいとは言えませんが、細い道を移動しなければいけない時などはとても便利です。どちらの乗り物にも共通しているのが“料金の安さ”で、これが多くの人に利用される要因だと思います。その他にも、観光地などではカレッサと呼ばれる馬車が車と一緒に道路を走っていたりもします。
トライシクルに無理やり6,7人乗ったり、バイクの3人乗りは当たり前だったり、日本との違いは明らかで驚いた部分もあったけど、何もかもが新鮮で、フィリピンでの生活は移動している時間でさえとても楽しく過ごせました。

フィリピンの大学を訪れ、大学生の家にホームステイもしたので日本の大学事情とフィリピンの大学事情を比べてみます。私のホストKarlaの話によると、St.Lasalle大学に入るには入学試験にパスしなければならず、またSt.Lasalle大学は人気校で授業料がとても高いとのこと。フィリピンの大学は全て私立であり、大学内はEnglish onlyです。これには、これからの時代は英語を話せることが全ての学生（世界中の）に求められる時代なのだと改めて感じさせられました。大学に進学する学生はやはりそれなりに裕福ですが、マイカーで通学できる学生もいれば、農村から出てきて高いモチベーションを持って就活に挑む学生もいて学生の実情は様々です。

大学の構造は世界中どこでも同じとされていますが、もちろんSt.Lasalle大学も日本の大学と同じようにカフェテリアがあり、図書館があり、学部授業が各教室で行われ学生がその教室へ移動していく、といったようなスタンスでした。国は違っても同じように学生である私たちは、大学という環境で同じように勉強し、遊び、日々を過ごしています。大学進学出来ていることに感謝を忘れずにたいです。また授業に飽きてきたときも、今頃St.Lasalleの人たちも授業受けているんだなーと思えば頑張れそうな気がしました。笑

こどもの目 ～ストリートチルドレン～

乙丸千佳子

まず最初にフィリピンに着いて夜中に皆でコンビニに行った。その際におろしたてのペソの束をコンビニのレジで出したら、コンビニ内にいた少年の目の色が変わってその後私の後をついてくるようになった。私はこの時に「ああフィリピンはやっぱりこういう国なんだ」と思った。次の日にショッピングモールに行った時に、きれいな服を着た子供たちもいる中に私達にお金をせがんで何度も何度も手を伸ばしてくる子供たちもいた。その子供たちの目は、全然澄んでいなくて真っ黒だった。日本では見る事のない目だったのでとてもびっくりした。その目を見るのが怖くて何度も目を背けて歩いたが、横で大貴が「No,no」と断っている声が聞こえて心臓がバクバクした。ストリートチルドレンがいること・貧富の差があることは知っていたが、実際に会ってみると衝撃が大きすぎて悲しいというより辛かった。日本にいるこのストリートチルドレンらと同じぐらいの年の子供は、たいてい普通に学校に通って友達と遊んで、家でおいしいご飯を食べてあたたかいお風呂に入ってふかふかの布団で眠るという当たり前の生活を送っているのに、どうして同じ子供なのにこの子供たちはこうなんだろう、なんでだろう、という気持ちだった。ストリートチルドレンに会った瞬間に、心が軋むからもうフィリピンにはいたくないと思った。

しかしファームで会った子供たちの目は日本の子供でもストリートチルドレンのものとも似ても似つかなかった。キラキラしていた。希望にあふれていた。ファームにはおいしいご飯以外に何もなかった(ただ日本で言う高級なものでは一切なかったが)。布団もぺらぺらだし、お風呂も外でバケツで汲むという状況だった。でも彼らの目は充実した生活を送る日本の子供より、輝いていた。

何が”こどもの目”をこんなに左右させるのか。幸せの定義とはなにか。 それらのことを考えるきっかけになったEx.だった。

豊かさと貧しさについて

亀谷由太

フィリピンはアメリカの植民地時代農業政策が失敗し、スペインの植民地下でなされたプランテーション農業に基づく地主と小作人の関係が今も続いている。

地主は全国に数十人いて、彼らの家族が国土の約半分を所有している。農村部では半数以上が1日1ドル以下の生活をする最貧困層である。富裕層は2〜3割程度しかおらず、それ以外は貧困層に分けられる。そして富裕層の人たちはさらに富が得たくて、貧困層の人々を低賃金で雇うため、貧富の差はどんどん拡大していく。

しかしその事実を知らながらも私はまた別のことを現地で感じた。それは実際の豊かさよりもずっと心の豊かさが大切だということだ。

私が行ったドゥマゲッティの人たちは、決してみんなが豊かな生活をしていただけではなかった。しかしお互いがお互いを支え合う空気感が感じられた。カラオケやPS3がある家もあれば、テレビしかない家もあったけどみんな仲良しの気がした。彼らは全力で遊び全力で働き、全力で私たちを歓迎してくれた。

日本は確かにモノにあふれている。シャワーも当たり前のようにあるし、トイレの便器もあったかい。クーラーもあるし洗濯機もある。でもいきなり見知らぬ外国人（日本語もうまく話せない）を温かく受け入れる心の広さや温かさがあるだろうか？

フィリピンの村人にはその豊かさがあった。私はこれからも彼らの温かさを忘れない。

お金の豊かさよりも心の豊かさが欲しいと思った。

フィリピンと水

坂下佳穂

フィリピンにおける最大の衝撃は水事情です。特にトイレ。ファームであったトイレは、便器のそばに6個ほどのバケツが置いてあり、そこでトイレの水を流したり行水したりするようでした。時には他の家の人も普通に借りていくようでした。ではファーム以外ではどうか？初めに泊まったホテルでは水洗でした。ただお湯は出なかった気がします。またホテルではプールもあり水は潤沢で、カップラーメン用お湯をもらいに行った時普通にくれたので湯沸かし器はありました。次に大学生の家でのホームステイです。この家は日本並みに電化製品がそろってありました。そこでのトイレは水洗でしたが、カーテンで区切られていたとはいえお風呂と同じ部屋でした。さらに水しか出ませんでした。アフターのボラカイ島のホテルもほぼ同様です。これらから、フィリピンでお湯のする風呂は非常にまれである。ということです。これは推測になりますが、お湯は必要ないのではないか、ということです。フィリピンは暑い国です。私たちは夏でも熱いお湯を好みますがフィリピンではその習慣がないのでしょう。お湯を沸かすにもやはりお金がかかります。ホテルなど、海外から人が来る施設にはお湯も出る設備がおいである所が多いようですが、フィリピンは島国のため海に近く、暑ければ海に飛び込めばいい。つまり汗を流すのにわざわざお湯を沸かす必要を感じていないのではないのでしょうか。

ただ個人的にトイレは水洗万歳です。汚い話しになるので詳しく書けませんが・・・。

フィリピンでの英語教育

辻早紀

フィリピン人はかなり英語が達者だった。Ex中いろんな所へ行ったが、どこでも英語は通じた。ファームで小学校を訪れた時英語の教科書を見たのだが、すでに比較級について学んでいたのには驚いた。また、大学では英語を使って講義をしていたし、私のホストも同い年だがとても堪能だった。7000以上の島で構成されているフィリピンにおいては、公用語は不可欠なのであろう。タガログ語もあるが、世界に目を向ければやはり英語である。近年フィリピンの英語教育が注目されてきて、韓国人などの留学生が多いのも事実だ。「英語ができない日本人」脱却の糸口がフィリピンの英語教育の中にあるかもしれない。もっと調べていきたい。

貧富の差と価値観の差

大野弥恵

日常生活でどんな時に貧富の差を感じるだろうか。

新聞やニュースで発展途上国が話題となっているとき、講義のテーマになっているとき、もちろんISAの活動で貧困についてディスカッションしたとき。フィリピンに行くまでは貧富の差について十分に認識をしているつもりだった。

ファームステイ中に体験した川での石拾い。10kg米袋相当の袋いっぱい石をいれ、都市にもって行って2ペソ（日本円で約4円）で売る。2ペソはキャンディ1個分に相当する。

ホームステイ中、日本では経験をしたことのないセブ生活を送らせてもらった。中学生のホストシスターとモールに買い物に行ったとき、1500ペソ（日本円で約3000円）の腕時計をみて、It's nice! And not so expensive. と言った。このnot so expensive.の言葉の裏には石のはいった750袋はないだろう。10日間という短い間でファームとシティでの生活を体験したことで、本当の意味で価値観の差を感じることができた気がするのは私だけではないと思う。

フィリピンの食文化

八嶋勇人

フィリピンの食生活は鶏肉、豚肉、マンゴーそして酸っぱいもの。

暑い国で仕事や勉強をしなくてはいけないフィリピン人は朝からお肉を食べて仕事や勉強に向かっていました。

そしてスープなどは酸っぱいものが多かった気がします。

それはたくさん汗をかくし、疲れをとるためだということです。

味付けに関しては、フィリピンの料理は日本のものに比べて濃いなと感じました。

そしてフルーツがおいしく、安いのも特徴です。

物価のこともありますが、何よりも農場がたくさんあり、気候にも恵まれているフィリピンは本当に沢山のフルーツがありました。

ファームには自然にココナッツがなっていてそれを飲んだり、本当に自然の中に身をおいて生活しているようです。

フィリピンの貧富の差

岡本夏実

今回、フィリピンExに参加してフィリピンの貧富の差にびっくりしました。初日のマニラでは日本と変わらないくらい綺麗なショッピングモールがあったのですが、ショッピングモールの周りでは何人ものストリートチルドレンが私たちのところへきて、「money,money」と言いながらずっと離れませんでした。このとき初めてフィリピンの貧富の差を目の当たりにしました。そして同時に自分ひとりでは何もできないと感じました。ファームステイとホームステイでも生活様式がちがうことにびっくりしました。ホームステイではとても広い一軒家に滞在し、家にはお手伝いの人がいって驚きました。ファームステイでは決して裕福な暮らしとはいえませんでした。現地の人々はそれを卑屈に感じることはなく、毎日楽しそうに生活していました。フィリピンには貧富の差があるのは事実ですが、そのことが幸せである、ないとは関係ないことを改めて感じました。

生活文化の違い

四枝あゆみ

まずフィリピンでの貧富の差が激しいことは、身をもって痛感した。特に村での生活では、日本人である私達にとってはとても衝撃的で、日本は本当に豊かな国だとまざまざと感じさせられた。一番苦労したのが排水の面だ。村では、紙はもちろん持参、便器にお尻をつけられないどころか、水を自分で汲んで流さないといけない。しかもコツがいるようで、ちょっとやそっとじゃ流れないのだ。どうしても流れない時は放置。それもほとんどが体を洗う水桶の横に隣接しているため、時には誰のとも知らない汚物が目に入っている状況で体を洗ったりもした。潔癖症の人なら耐えられないだろう。衛生的にも精神的にもかなりダメージを負った。街になればなるほど清潔感が増すのだが、それでも日本とは比べ物にならない。むしろ日本のトイレへのこだわりが異常なのだと感じた。

フィリピンのインフラ

小山啓介

いわゆる途上国と言われるフィリピン。町の不衛生さ、また子供の貧困は足下に散乱するゴミの山に所以するのではなからうか。先進国の町はそれなりにきれいだ。ゴミ箱が設置され、ポイ捨てには罰金が課せられる。町の景観はその国の顔となるものである。それが汚されてるとなると経済発展はますます難しくなってくる。

まずはインフラの整備。町のクリーン化。そこから始めよう。フィリピンの未来のために。

「フィリピンの食文化」

太田麻菜美

フィリピンでの食事は日本での食事と、共通点もあり相違点もあると感じました ^^

フィリピン食にはキャベツやニンジンなどの野菜類が極端に少なかったです。主にチキンなどの肉とお米という組み合わせの食事でした！日本人は野菜を食べて食物繊維やビタミンを摂取しなければならないという意識が強いのかに対して、フィリピーノは全く気にかけていないように思えました。またフィリピン食の大半が甘い味付けなのは、砂糖産業に力を入れて取り組んでいるという背景によるものだと思います。国によって食文化はさまざまであるのだと改めて感じました ^^

フィリピンにおける格差

針崎万麗夜

このフィリピンExを通して、格差について考えさせられた。この格差には2種類ある。それが①都市部内での格差と②都市部と農村部との格差である。首都マニラには東京にあるような大きくてきれいなショッピングモールがあったり、アミューズメントパークがある。一方、ストリートチルドレンもたくさんいた。Ex中、どれだけの子どもたちにお金や食べ物を求められただろう。本当に胸が苦しくなった。この格差を生み出しているものは何か、どうしたらストリートチルドレンの問題を解決することができるのか。この疑問は専門家が解決してくれるとしても、私たちが何かできることはないのか、学生がこの国のためにできることは何なのかをひたすら考えた。でも、なかなか答えは見つからない。

首都ManilaからSilayの農村部へ移動したときも経済格差に衝撃を受けた。何が違うってとりあえずは建物・住まい。大きなSMモールもなければ、高層ビルもない。ホームステイした家庭にはお風呂もないし水道も通ってない。川でお風呂の日もあるし、トイレは川で汲んできた水を洗面器で流す。村には街灯もない。しかし携帯電話はある。家畜が各家庭にいる。生活の違いに戸惑いながら順応していく。ただこの深刻な格差をどうにかしなくてはいけないと思った。私ができることは何だろう。その答えを私は今も探している。ただISAPのコミとして、いろいろ勉強しながらフィリピンのためにできることを一生懸命やっていこう、そう思った。

フィリピンで頑張る日本人

有方慶江

フィリピンでのファームステイ中に、小学校で日本の文化について紹介する機会をいただきました。事前に用意をしたのちに学校に行き、先生方にあいさつをしている時でした。日本人の方がフィリピン人の先生方にまぎれていらっしゃいました。都会から遠く離れたファームでまさか日本人の方に出会えるとは思ってなくて日本人メンバー皆がとても感激していました。その日本人の方は袴田さんといって、青年海外協力隊の平成22年度第一次隊の一員としてフィリピンの小学校を訪問している方でした。おひる時間に袴田さんからフィリピンのあらゆることについて質問しました。小学校6年間は義務教育ですが、学費を払えないなどという理由で中途退学者は少なくはないようです。そして中学校は4年間で中等部に進学する子は少ないとの事でした。小学校では先生が、中途退学者が出ないように出席率など細かくチェックしていました。あと、理科の授業は英語ですることで、小さいうちから英語に馴れさせているそうです。袴田さんのお話でフィリピンの事をもっと知れたような気がしました。別れ際に袴田さんは、「こんなところでまさかこんなにたくさんの日本人と会えるなんて思ってもみなかったからほんとに嬉しかった。日本語が恋しいのでまたメールしてくださいね^^」とおっしゃいました。フィリピンでの生活は寂しくて過酷だが、とてもやりがいがあるとのことでした。フィリピンで頑張っている袴田さんをめいいっぱい応援したいです。

格差問題

福井千聖

フィリピンでの生活はとても楽しかったけど、その傍らにいるストリートチルドレンにとっても心が痛んだ。マニラでのオシャレな人や街の隅で、物乞いをする子供たち。こんなにも格差がはっきり表れていることに驚いた。そういう場面を見ると、心から楽しめなかった。バコロドでは、ご飯を食べていたら、ステイ先の大学生が「これもういないなら外の子供たちにあげるね」って言って残りをあげてた。初めての経験だったけど複雑な気持ちになった。何かしてあげたい、何とかやしなきたいけないって思っても、何もできないもどかしさが辛かった。日本との違いが大きく、衝撃的すぎてへこむこともあったけど、最後の日のマギーさんのスターフィッシュの話を聞いて、自分の中でなにか変わった気がした。小さな行動でも救われる人はどこかにいて、続けるうちにだんだん大きくなってたくさんの人が幸せになれる。自分か感じたもどかしさも、きっと意味のあることで、いつか何か変わるきっかけになると思う。私はこのExのおかげでフィリピンが大好きになった。フィリピーノのあったかい笑顔にたくさん元気をもらった。フィリピンの人たちみんなが笑顔でいられる環境になってほしいと心から思った。

日本を含めどの社会でもみられる傾向ではあるが、フィリピン社会においても格差の拡大は深刻である。10年の新政権の発足とともに従来から指摘されていた政治腐敗の払拭が期待され、景気回復によりEUとのFTA締結の可能性もあり、今後の成長が見込まれるフィリピンの現状について述べようと思う。

フィリピン経済の特徴的な点はGDPに占める海外労働者からの外貨送金の割合が多いということである。09年にはGDPの1割強を占める規模になっており、銀行を経由しない送金なども合わせると2割程度になると予測されるほどフィリピン国外で就労しながら本国に送金して家族の家計を支えるというケースがよくみられる。ファームでのホストファミリーの姉はすでに家を出て大学在学中に渡米。その後アメリカで結婚しているというように、職を求めて海外へ渡ることがもはや学歴をもつ人には当然の選択になっている。しかしそれこそがフィリピンの成長を妨げる一因になっているのだ。最近では失業率は7%台で推移しているが、潜在的失業率を含めると20%に達する可能性がある。そのような状況も相まってフィリピン国内での求人の絶対数は不足していると言わざるを得ず、高学歴の優秀な人材は海外で職を得るといった選択肢に向かうしかなくなる状況がうかがえる。今後のフィリピンの成長を担うのはそういった優秀な人材を国内にとどめておけるような企業の成長とフィリピン国内での雇用創出とその質向上である。

また今後の成長を考える上での重要なポイントは、所得の再配分が適切におこなわれるかどうかである。09年度の一人当たりのGDPは15,000ペソとなっており経済規模の拡大と人工の年率2%程の増加などもあり、過去28年間で約2割ほどしか成長していない。そして国内での所得配分の不平等の程度を示す指標のジニ係数が0.458と東南アジア諸国の中でも高い値を示しており、所得の上位2割が国内の所得の半分以上を占める状態が続いている。つまり経済規模拡大のメリットが国内全体にいきわたらず富裕層の一部にのみ富が停滞しているということである。

フィリピン国内の課題を解決していくためのこれだという唯一の方法は存在しないが教育や政情の安定化、インフラ整備などの基盤を前提にして国内雇用の拡大と所得の再配分の最適化、内需拡大と海外の直接投資の呼び込みなど包括的な社会政策が求められるだろう。

Thanks to Philippine

米本千紘

I experience happiness by Philippine ex.

Because Philippino(a) said I am happy.

I want to come back Philippine someday. I love Philippine so much. Thank you!

フリーエッセイ

Free Essay

「Philippine EX 2011&団長」

楠本 真弘

このフィリピンEX2011で僕は団長を務めさせてもらった。はっきり言って最初は不安でいっぱいだった。初活動参加、初海外、初リーダー的存在、そして英語はあまり話せない。僕にとっては何もかもが初めてだった。しかし、とにかく何かに挑戦して成長したい！と思っていた僕には最高のチャンスであった。そして今、間違いなく成長できたと実感している。その理由は3つある。

1つ目は「フィリピンの現状をこの目で見たこと」である。フィリピンの現状には正直ショックを受けずにはいられなかった。中でもストリートチルドレンは最も衝撃的であった。また、村の人々の給料の安さにも驚かされた。毎日炎天下の下で長時間働いてもほんの少しの給料しか得られない。それでも必死で働き家族を養っている。そのような状況でも彼らの村は笑顔で溢れている。日本にはない笑顔であるような気がした。それらを実際にこの目で見ることで、日常のすべてにおける考え方が変わったような気がする。そして今では全てのことに感謝して生きている。

2つ目は「出会い」である。このEXを通じて本当にたくさんの人達と出会った。共にフィリピンへ行った28人のメンバー、マニラ観光でのボランティア、村の人々、大学の学生達、Mardiさん、Carlo、Sandi、その他大勢の人々と出会うことができた。そして彼らとは現在Facebookを通じてつながっている。これは本当にすごい事だと思う。2011年に偶然集まったメンバーで国境を越えてフィリピンへ行き、たくさんのフィリピン人と偶然に出会い、今まで学んできた英語で会話をし、その人の存在・考え方を知り、最後には日本に帰りたくないと言い、そして今Facebookを使うことによりいつでも彼らの現在の状況を知ることができる。人間の「出会い」とは本当に言葉では表せないほど素晴らしいものだと思えた。これからは人生の限りたくさんの人と出会いたいと思う。

3つ目は「団長に挑戦したこと」である。向こうでは本当にたくさん仲間たちに助けてもらった。でも団長として自分なりに精一杯頑張った。この経験は絶対に自分を成長させたと思う。そして、プログラムの最後にみんなからもらった手紙は俺の一生の宝物！！みんな本当にありがとう！！

ちゃらウンコでした☆

フリーエッセイ

坂下 佳穂

色々衝撃的な旅でした。聞いたことはあった。でも見たことはなかった。そんな驚きばかりでした。そしてご飯おいしかった！！！！本当においしかった！！！！チキンばっかりだったけど！野菜食べたかったけど！！でもおいしかった(*ω`)食は幸せです。フィリピンで色々あったけど、やなこといいこともたくさんあったけど、食でめります！ありがとうございますフィリピン！！！！おいしかった！

ファームでの生活が一番楽しかったのは、時計にそんなに縛られない（もちろんファームにも時計はある）生活という日本では味わうことが出来ない非日常を味わうことができたからだと思います。また、村の人の親切で話しやすいことこの上ないです。夕方から寝る前にかけての時間に縛られないあのフリータイムが大好きです。日本にかえってきてまた時間でスケジュールを決めるときファームでのあの生活を懐かしく感じる時があります。フィリピンは陽気な国でした。日本人もたまには時間を気にせず好きなことをしてみるのも悪くないかもしれませんね。

～自分のルーツって～

「自分どっかに東南アジアの血筋流れてるのかな」
こんなことをずっと頭の片隅で考えながら17日間過ごしていました。
なんせ
フィリピン到着二日目にしてアラブ人にガチでフィリピン人と間違えられる。
滞在中二日に一度は「あなたは本当に純粋な日本人？」と聞かれる。
滞在終盤にもなると本物のフィリピン人より日焼けして黒い。
フィリピンの気候が日本の気候よりもはるかに過ごしやすい。
写真を見返しても本物のフィリピン人と見分けがつかない。

しかし、今思えばそんなことはどうでもよくなるぐらい素晴らしい時間と友をフィリピンでは得ることができたことと確信しています。特によかったと思えるのはファームステイ。そう答える人が多いとは思いますがやはりこれは否定できません。

予定があるにもかかわらずほとんど時間にしばられることなくのんびりとした生活が延々と続いていく。ぞっとするほどに魅力的な生活でした。3泊4日は短くてあっという間だったけれどもそれぐらいでちょうど良かったと思っています。たぶんあれ以上ステイしていたら真剣にファームを離れられなくなっていました。

一日中広場に流れる音楽。大人たちの中には気難しい人も確かにいるけれどそれでも皆が皆親切で、子供たちはみんな満面の笑顔で駆け寄ってきてくれる。離れるときは本当にさびしくて、普段はどんな感動的なドラマを見ても本を読んでも泣かないのに、思わず泣いてしまいました。子供たちに気づかれてしまい笑われて悔しかったです。

日本に帰ってきた今でもまだファームで出会った人たちの何人かとはfacebookで連絡をとっているのですがそれでもやはりさびしいです。大学生のうちに、時間を作って個人的に戻れたらいいなと、真剣に考えている今日この頃です。

フィリピンは「笑顔が素敵な国」。これがフィリピンの第一印象です。実際にプログラムに参加して感じたのはみんな感情表現を率直に出したり、何より私たちへの気遣いをしてくれたりと人の温かさがフィリピンにあるということです。ファームではカルチャーショック（お風呂など）が大きすぎて3日間やっていけるか最初は不安でした。でも、家族や村の人たちが優しく、こんなに温かい世界があるんだと気づくことができました。

もちろんExのメンバーに恵まれていたというのもあります。プログラム後半で私は体調を崩したり、東日本大震災などで多くの人に迷惑をかけたり心配をかけてしまいました。申し訳なさもありますが、感謝の気持ちでいっぱいです。

みんなで一緒にダンスしたり、大勢で海にいたり、現地の学生と国際交流するなどの貴重な経験は大学生である今しかできないことだったと思います。行く前は緊張のせいでプログラム参加が億劫だったフィリピンExが、今となっては次へとつながるステップとなったそんなプログラムでした。

フリーエッセイ

宮脇将太

フィリピンでの生活は何もかもが衝撃的で新鮮でした。初日のショッピングモールの駐車場で小さな子供から物乞いをされたときはすごくテンションが下がったというか、複雑な気持ちになりました。テレビなどで見たことのあるような子供たちが今自分のまえにいて、その子たちに何もしてあげられない自分の無力さを感じました。フィリピの滞在中にずっと考えていたことは、いかに私たちが日本で恵まれた生活をしているかということです。特にファームでの生活ではそれを痛感しました。日本では蛇口をひねれば水はもちろん、温かいお湯まで出てくるし、コンロをひねればガスがつくし、トイレもレバーを押せば勝手に流れてくれます。しかし、ファームではそうにはできません。川でお風呂の日はほんとにびっくりしたし、トイレにはひと苦労しました。実際にファームでのような生活をしてみないと、いかに私たちの生活が恵まれているかわかることはできないと思います。本当に貴重な体験ができました。

ファーム(^o^)

米本千紘

ファームではたくさんのフィリピーナ、フィリピーノの温かさを感じました。
ホットな国の人たちは心の中も温かかった！！
私は英語がほとんど話せず、何を言っているのかもよく分からず...初日は正直泣きそうでした。ってというか泣きましたけどね。それも思い出です☆
だけど最終日にもなるとそんな初日の不安はありえへん！ってくらいファームが好きになって帰る時は、もう泣かないと思っていたけど、ファームの子供たちやホームステイ先のママやおばあちゃんが涙を流した時に、また一緒に泣いてしまいました。
泣いてばかりって感じのテーマエッセイですが、いっぱい笑いました。それは日記で見てくださいね☆

フリーエッセイ

高木理沙

フィリピンexですごく濃い10日間を過ごせた！

正直に言えば、私は性格上あまり深く考えずに参加したところがあった。出発直前になって、治安とか自分の英語力に不安を感じてどうしようかと急に焦り出した。しかし、フィリピンに着いてから不安よりも、日本とは全く違う風景に感動し、フィリピンでの日々に対する興味・関心の方が強くなった。そんな思い出に残る10日間の中で一番印象深かったのは、ファームステイ先での生活だった。最初はファームでどうやって生活していけばいいのかと戸惑ったけど、家族はすごく優しく親しみやすくて変に気を遣わずに自然でいることが出来た。家族だけではなく、村の人たち全員がフレンドリーに私たち日本人を迎え入れてくれた。とにかく子ども達がすごく人懐っこくて可愛かった。びっくりするくらい綺麗な星を観たり、トラックの荷台に乗ったり、目にするものほとんど全てが新鮮で衝撃的だった。

ファーム以外の他のところからの経験や出会った人たちの温かさからもフィリピンがすごく素敵なおところだということがよくわかったし、好きになった。参加して本当に良かった。ありがとうございました。

KAKAIN

潤井 亜紀子

私がファームステイしたお家は、お父さん、お母さん、5人兄弟の末の息子さんの3人暮らしだった。その家の隣には、息子さん家族が住んでいた。私が話したいのは、そのお家の一人娘、Angelのこと。

Angelはまだ幼く、学校に通っていないため、英語は話せない。知っている英語は数字くらい。だから私は一緒にテレビを見て笑ったり、お菓子を食べたりすることしかできなかった。しまいには、ゴムをとばして、2時間くらい遊んだっけ…。時折Angelは私にタガログ語で喋ってきた。必死にAngelの目を見て聞いたけど、やっぱり理解できなかった。そうやって、一緒に笑ってるだけでも、もちろん楽しかった。子供らしく、やんちゃなAngelはとてもかわいかった。でもやっぱり、言葉の壁を感じずにはいられなかった。何言ってるんだろう、何考えてるんだろう…、って。

最終日、Angelが私の所に近寄ってきて、指を口に持っていく仕草をし、何かを訴えてきた。私は

「KAKAIN?」と聞いた。「KAKAIN」は、初日にホストファミリーが色々教えてくれたタガログ語の中の1つ。「食べる」という意味らしい。「KAKAIN?」と聞いた私に、Angelは、うん、とうなずいてくれた。その時、私は、言いようもなくうれしかった。初めてタガログ語で会話ができた。とても短い会話だったけど、確かに言葉のキャッチボールだった。

人と交流するとき、言葉は必ずしも必要でないかもしれない。でも、言葉があるとずっと親密になれる。そう気づかせてくれたホストファミリー、そして何よりもAngelに感謝の気持ちでいっぱいです。

笑う門には福来る

大野弥恵

ファームステイ先の家を見渡すと気づくことがある。トイレやお風呂などの水場日本に比べてかなり不十分に感じる。自分で水を汲んで流す水洗トイレに、桶で水を汲んで頭を洗うお風呂。しかし私たちのステイ先のファームの家は概してテレビや音響設備がかなり充実していた。音質の良い大きなスピーカーにカラオケ機能までついていたりする。子供たちは（もちろん大人も！）音楽に合わせてダンスをする。

今年の春から大学に通う予定の二十歳前後の男の人がいた。高校卒業後、大学に行くお金を貯めていたそう。彼はこう言っていた。ファームでの生活はつらいことや苦しいことがたくさんある。だからみんな音楽やダンスを楽しんで笑顔を忘れないんだ。みんなが笑顔でいればあきらめないで頑張れる。

ファームでは子供も大人も関係なくいつも笑顔だった。ファームの人は私たちを暖かい笑顔で迎えてくれたし、私の乏しい英語にも嫌な顔をせず楽しそうに対応してくれた。フェアウェルパーティーで子供たちと一緒に踊ったときの楽しさ、彼らの笑顔は忘れられない。

笑う門には福来る、笑って太れーLaugh and be grow.ー

私は彼らの笑顔みるととても幸せな気分になれる。

フリーエッセイ

津田大地

チキン&ポークは毎日食べてた気がする。味はよかったけど毎日はホントに飽きた。それからファームでは子供の元気さもうついていけないくらいの体力なにをやっても笑いそして、笑顔を見ていたような気がします。日本ではできないような経験ができてホントによかった。そして、英語は喋れるようになりたい！がんばろう！

フリーエッセイ

辻早紀

ホームステイ2日目にRUINという邸宅を訪れた。イギリスの建物をモデルにしたらしく、とても華やかで荘厳だった。テンションが上がってまよとキャーキャー言って写真もいっぱい撮った。スタッフの人に「日本人か？」と聞かれ、「そうだ」と答えると、「この建物は第2次世界大戦中に日本人兵士の本拠地として利用されないように燃やしてしまったんだよ。でも君たちがいい人だというのはよくわかっているから」と言われた。ショックだった。自分たちが気づいていなかったところで日本とフィリピンの間に深い関係があるということに改めて気付かされた。今回のツアーで多くの人と出会い、心を通わせ、理解しあった。別れのときには涙を流した。きっとこれからの2国間の関係において大切なのはこういうことだと思う。私はこれからも出会いを大事に、大切な人達の輪を広げていきたい。

フリーエッセイ

畑 安由美

軽い気持ちで参加を決めたフィリピンExでしたが、参加して本当に良かったと思います。治安や英語力、生活習慣の違いなど不安なこともいっぱいあったけど、本当に楽しい時間を過ごすことができました。初めてなことだらけだったファームでの生活では、裕福＝幸せではないんだと改めて感じ、マニラでは物乞いをしてくる子供たちに衝撃を受けました。日本にいては絶対に経験することがないようなことがたくさんあり、とまどった所もあったけど、とても充実した10日間でした。

ファームでは誰が本当の家族なのか分からないくらいみんな仲良しだし、私たちに対してもとてもフレンドリーに接してくれました。バコロドではルームメイトの2人も一緒にハイキングへ行ったり、隣の部屋の子達とその子のboyfriendの車で夜、公園に行ったりもしました。英語が苦手なのでコミュニケーションを取るのに少し苦労したりもしましたが、出会った人みんながとても親切でいい人ばかりで、言葉が通じなくても毎日とても楽しく過ごすことができました！

終わってみると本当にあっという間のフィリピンでしたが、いろいろな事を経験し、考えさせられた10日間でした。一生忘れることのない思い出になったと思います。

お世話になったみなさん、ありがとうございました!!

Ex.を終えて

福本優佳

実際に10日間フィリピンで生活したくさんの人たちと触れ合っただけで思ったことは、Manilaの大学生もSilay cityのファームで暮らす人たちもBacolodの大学生も、みんなそれぞれが自分のライフスタイルを持っていて、それを全うすることで日々を充実させているということです。日本と比較すると技術のうえでフィリピンは発展途上の国ですが、幸せというものは自分のものさしで図るものであって技術や豊かさ云々で決められるものではないと改めて思いました。勿論、大学生たちはフィリピンでは裕福な家庭の出身であり、私の訪れたファームも中産階級のコミュニティであり、いわゆるスラム街ではないし、日々の食べ物もままならない生活を送っている人が他にたくさんいます。そういう人たちに手助けをする事は、どこに住んでいても出来ることです。豊かではなくても、衣食住さえ保障されていればライフスタイルを作ることができます。私たちは常に関心を持って目を向けていかなければならないと思います。そして自分は自分のライフスタイルを精いっぱい全うしていきたいと思いました。

フィリピンで過ごした10日間は本当にあっという間だった。マニラ・ドゥマゲッティ・バドロゴと行ったけどどれも本当に早かった。

私はこのEx中日本の生活とフィリピンでの生活比較してしまうことが多かった気がする。日本の生活は工夫をしなければ本当につまらない。物が溢れてるため何も考えなくても生きられるからだ。だがフィリピンはそうはいかない。何もないからこそ何か楽しいことを考えなきゃっていう発想が自然と身につく。そしてまた不思議なことに日本では特に楽しさを感じるのことがフィリピンでやったら楽しく感じられるのだ。歌歌ったり走り回ったり踊ったりするだけで楽しかった。それは向こうの人々が色々な意味で純粋だからだと思った。この環境での楽しみ方を知っている。

今回のこの報告書を何人の人が見てくれるんだろう？

そんな人たちに私が最も言いたいことは、インターネットや資料から得られる情報の何倍ものことを、実際行くことで経験できるということである。それこそ固定概念が崩れるような経験もできる。私は実際に行って、物乞いの子供たちとのコミュニケーションは可能なんだと知れた。（元々その行為は禁止と言われていたのだが）また風船60個膨らましプレゼントすることで30、40人の笑顔を作れると知った。さらに本気で走りまわって笑い合った子供は、言葉はうまく通じなくても別れの時泣いてくれるんだと知った。これらのことは参考書には載ってない。実際に足を運ばなきゃ気づけないものだ。

今フィリピンに行こうか迷いながら私のこの文章を読んでくれる人、もちろん一歩踏み出すのは怖いと思う。海外行ったことない人もいると思うし、ましてやフィリピンは色々な意味で怖いイメージもあるだろう。だが実際に行った私は断言して言える。絶対行くべきだと。シャワーの水が冷たくても、クーラーが無くても、虫が多くても、バスに早朝から7時間乗らされても、である。それ以上のことが、むしろこれらのしんどい経験も財産だと思うから。

俺も思ってるだけで行動できない人間にはなりたくないから、ここで1つ宣言します！

絶対また社会人になる前にフィリピンに行きます。今回のExでお世話になった人たちに恩返しをします！思うことは誰でもできる。行動することで初めて意味がある。

フィリピンExでお世話になった全ての人たちへ。

本当に最幸の10日間を本当にありがとう。

言葉を越える愛

小山啓介

一番印象に残っているのがファームステイの最終日。別れを惜しむ子供たち、そしてファームステイ先のお母さん。彼女はいわゆる貧困層の人間で、教養があるとはとても言えない人。もちろん英語なんて喋れない。ステイ中、何度も会話が行き詰まることがあった。しかし最終日、彼女の涙が一番美しかった。どこの馬の骨かも分からない日本人学生を暖かく迎え、大きな愛で包んでくれていたことに改めて気づかされた。

言葉なんて関係ない。心の琴線にお互い触れることができれば何の問題もない。

涙が流れた。

Philippine Ex

工藤眞世

Exへの参加は初めてだったけれど、参加してよかったと思っています！経済格差をかなり感じ、日本との生活、文化の違いもすごく感じることができました。経済格差は衝撃的でした。マニラでのストリートチルドレンやドゥマゲッティでのサトウキビ収穫、川での小石拾いなどなど日本ではまず考えられないことだと思いました。フィリピン国内での経済格差はバコロドのホームステイでひしひしと感じました。それに水周りは特に大変で、ゴミ箱の習慣がないことにも驚きました。ファームでの子どもたちの笑顔は本当に素敵で、瞳がキラキラ輝いていたし、海もすごく綺麗で本当に日本に帰りたくなかったです。普通の旅行じゃ味わえない経験ができたし、何より自分の中で得られたものが大きいです。ここには書ききれない程、心に感じるものがたくさんありました。自分にとって今回の経験はかけがえないものになり、思い出もたくさんできました。本当にこの経験はプライスレスだと思います！また絶対に行きたいです！フィリピンメンバーとも仲良くなれたし、最高な10日間でした！今回のExに関わってくれた人たち皆に感謝します、本当にありがとうございました！！

フリーエッセイ

四枝あゆみ

フィリピンEx.今思い返すとリアルウルルン滞在記を体験した気分です。英語もまともに話せない私の初海外進出で、いきなり村の家に一人で泊まる事になるとは思ってなかったです。当然初めはあたふたおろおろして不安ばかりだったのですが、ママの優しさや子供たちの笑顔に触れて、言葉の壁を乗り越えて私達は家族になれた、とそう思える事ができました。他にもたくさんのフィリピン人の友達もでき、もちろん日本人メンバーとの友情も築く事ができました。こんなに短期間でたくさんの人と出会い、仲良くなれた体験は、これまでなかった体験です。本当に様々なものを与えてくれた機会でもありました。

ちなみに私が一番テンションが上がった瞬間はなんといってもビーチですね((´▽`*))

あんな綺麗な海と島を貸し切り状態で楽しめる経験なんてなかなかないですしwww

とにかく、、、絶対もっかいフィリピンにいつてやる!!!\(`ロ`)(/ロ`)/

フリーエッセイ

八嶋勇人

フィリピンを通して感じたことは、本当に日本との違いを感じる事が出来る国であるということでした。まずは気温。肌寒い気温で日本を出発した4時間後には真夏のフィリピンに到着しました。フィリピンには四季は無く、夏季と雨季しかありません。

この気候の違いは本当に異国に来たという感じを与えてくれました。

次にストレートチルドレン。繁華街の店のドアの前等で花や手作りのおもちゃを持った子供がお金を求めて懇願し続けていました。子供達の衣服はぼろぼろで体は痩せていました。それを見て何も感じない大人達を見てフィリピンの今おかれている貧困状況を感じ取ることができました。

財政的なものを見ると、フィリピンよりも日本のほうが豊かです。

しかし、ファームの子供達は、ゲームがなくても、パソコンがなくても、満足なおもちゃがなくても本当に毎日楽しそうに、笑顔に包まれた生活をしていました。

日本とフィリピンの違いを考える中で、本当の幸せとは何なのかを考えさせられました。

これは永遠のテーマであり、これからも探求していきます。

「忘れられない言葉」

乙丸知佳子

「Chico、あなたは帰ってくると言うけど 今まで私達の村に来て

またここへ戻ってきた人はいないんだよ。

簡単に 帰ってくるから待っててなんて

言っではいけないよ。期待して辛いから」

私がフィリピンで言われて忘れられない言葉がこれだ。ファームでの別れの時にホストママが「さよならが寂しい」と言ったので「大丈夫だよ、フィリピンもこの村も大好きだから私は来年またできたらここに来るよ」と言った時に言われた言葉だ。フィリピンは韓国に比べて治安も交通の便も悪く、自分一人でやってきて何もかもしろといわれたら躊躇して何もできない国だと私は考える。しかしそれは私だけではなく、ファームのホストも理解しているようだ。別れ→また会うという流れが出来上がっている私の頭では、そんなことを考えることもなく軽はずみな言葉を言ってしまったと思った。心のどこかで「戻ってきたいけど、無理だろうな」と思っていたということもある。

ASCやJKに参加した私の意見は、韓国は比較的近くすぐに行けるしISAもプログラムを多数持っているので再会する可能性が高いので感動はするし、別れも悲しいがそれほど辛くはなかった。でもフィリピンはなかなか行けないのもう会えないかもという思いからひと時ひと時を大事にしよう！と思って毎日大切に過ごすことが出来た。かつ多くの人との触れ合いがあった。フィリピンの村とバコロドが一番居心地が良く、今でも戻れるならすぐにでも戻りたいと思う。ホストママに言われた言葉を受けて、私が言った「大好き」であることと「戻りたい」意思は本心だ。戻ることはできないかもしれないけど、忘れることも絶対にできないと思った。

「つながり」

前栗蔵 志帆

Farmにいと、村中の人が挨拶をしてくれる。見守ってくれる。

まるで、自分の故郷であるようだ。

そこでの人とのつながりは、強い。良い意味でも、悪い意味でも。

Sugar farmの労働者は、朝5時から8時間働く。もちろん休日はない。1日の給与は120ペソ。（約240円）

川では、女性たちが道路を作る時に必要となるセメントの原料の小石を拾っている。大きな袋1つで2ペソ。（約4円）私がその袋をいっぱいにしようと思ったら2～3時間はかかるだろう。

なぜそんな割に合わない報酬なのに、ストライキをしないのだろうか、逃げ出さないのだろうか、疑問に思った。尋ねてみると、こんな答えが返ってきた。

やり方が分からない。給与がもらえなくなる。お金がないので、もちろん学校に行かせられなくなる。

それに、その団体を抜けることになるため、そこで暮らしにくくなるだろう。

しかし、一生Sugar farm で働くわけではない。60歳まで働いたら、その後は毎週給与が支給されるそうだ。働けなくなってからの生活保障があるのだ。生活保障と聞くと良い響きに聞こえるが、それも厳しい労働から抜け出せない要因の1つになっているのではないかと考えた。

団結しなければ生活が困難であるし、このシステムを一概に批判することはできない。しかし、そのシステムがあるために、教師になりたい、エンジニアになりたい、スポーツ選手になりたい、といった少年少女の夢の妨げになっているように感じる。

それを取り払うには、外の世界を知ること、人権を擁護すること等長い道のりになるだろう。しかし、これ乗り越えなければいつまでもこのままである。7000以上の島を持つフィリピンでは特に難しいかもしれないが、少しずつ改善され、街や村に住むすべての子供が夢を実現できる環境になることを願う。

「2週間のフィリピン旅行」

太田麻菜美

最初、フィリピンに行くということに少なからず抵抗がありました。治安や衛生面において日本よりもいくらかの不安があり、2週間暮らしていくことが本当にできるのかな・・・とずっと感じていました。実際お風呂やトイレの日本との違いやストリートチルドレンなど・・・戸惑うことは多くあり、しかしフィリピーノの優しさに触れることができた2週間だったとおもいます。日本では子どもと接する機会がなく、苦手意識を持っていたのが嘘のようにドゥマゲッティではたくさんのこどもたちと仲良くなれました^^ ステイ先の3歳の女の子が「manami~mama~!!」って呼んでくれるようになったことはなにより嬉しかったです♪ アフターでボラカイというリゾート地に行ったこともよい思い出です^^ フィリピンという同じ国なのにこれほど格差があるということでもたまたま考えさせられました。英語が聞き取れなくて意思疎通に困ったことも多くあり、まだまだ自分の未熟さを感じさせられたフィリピンexでした！！

フリーエッセイ

有方慶江

私は今回初めてフィリピンに行きました。以前から上回の方からフィリピンExについてお話を伺っていて、興味を持ち行きたいと思うようになりました。みなさんが共通しておっしゃった言葉は「人生が変わる」とおっしゃっていました。実際に行ってみてその言葉の意味が分かりました。中でもファームステイが最も印象深かったです。プログラムの初めにファームステイをしました。そこは自然に溢れていて、日本での生活とは全く違うものでした。ちゃんとしたトイレもなければ、お風呂もなく、水道も通っていませんでした。井戸の水を使って生活用水を得ていました。日本のように便利ではないですが、ファームの人たちはいつも笑顔で過ごしていました。私も実際ファームではとても楽しく充実した時間を過ごせました。理由は、沢山の子供と親切でフレンドリーな人たちと、自然と触れ合えたからかなと思います。日本では近所の人が誰かも分からないくらい近所とのかかわりが薄いですが、ファームでは村が1つの家族のようでした。実際ホームステイ先の家には毎日人が出入りしていたので、いまだにホストファミリーが誰だったのかははっきり分かっていません。私にとってとても興味深い点です。ファームの人と触れ合っていくうちに、便利な世の中って言うだけで一概に幸せとはいえないなと思いました。

フリーエッセイ

針崎万麗夜

とりあえず楽しかった\(^o^)/毎日が充実してた！フィリピンについて知ることができたし、フィリピンの現状に正面からぶつかっていった。気さくで優しいフィリピーノ☆本当に大好き♥このExを通して、フィリピンにも他支部にもたくさんの友達ができたと、FarmとBacolodのホストファミリーは私の第二の家族(*^_^*) フィリピンExはマニラの豊かな生活もFarmの貧しい生活も学生生活も味わえる、とてもいいプログラムでした。経済格差に驚きながら、日本との生活の違いに戸惑いながら、異文化を理解し順応していった。このプログラムを通して世界観が変わったし、何か成長できたと思う。たくさんの衝撃と優しさと思い出をもらった。やっぱ国際交流って楽しい、異文化体験っておもしろい！つたない英語でコミュニケーションとるのが難しい時もあったけど、フィリピーノの思いやりと伝えたいという一心で乗り切れたw
ありがとう、フィリピン！ありがとう、フィリピンExメンバー！皆が大好き♥

フリーエッセイ

福井千聖

フィリピンで私にとっての一番大きな経験は、ファームに行った時だった。

まず、ファームに着くまでのバスの時間。28人いたメンバーがどんどんバスを降りて、最後には7人になって、どんどん田舎に入ってくしで、ファームでの生活が不安ですごく心細かった。

村に着くと、人がたくさんいて、めっちゃ見られるし、言葉わかんないしでもう泣きそうだった。けど、そのあとすぐ笑顔の自分がいた。まずステイ先のおばあちゃんが優しくった。家族みんなで歓迎してくれた。それから、村の子供たちが寄ってきてくれた。フィリピンに来るまで小さい子と絡んだ経験が全然なくて、しかも言葉がわからないから意志疎通できないし、ぜったい好かれないうなと思ってたから、すごく嬉しかった！言葉がわからなくても、一緒に遊ぶことはできるし、仲良くなれるんだってことを子供たちから教えてもらった。たくさんのお花とラブレターをもらった時の感動は、一生忘れません！

行くまで不安ばかりだった分、実際の生活がとても楽しくて、お別れはとてもつらかった。ファームステイを通して、初めてのことをたくさん経験して、感じることも多かった。

もらった手紙の中に、「友達は自分の心の中でしか価値が決められない」という文があって、いろいろ考えさせられた。

ファームステイで、人とのつながりについて考えることが多かった。

フィリピンEXで出会った人たちとのつながりを大切にして、いつかまた会いに行きたいと思った。

フリーエッセイ

岡本 夏実

このフィリピンExに最初は軽い気持ちで参加しました。当初は、初めての海外で戸惑いもありましたが今思うと本当に参加してよかったとおもいました。

ジープや馬車、モーターサイクルなども乗れて日本ではできない貴重な体験ができました。

ファームステイではステイ先の家族と英語で会話できるのか不安でしたが、家族が私の不完全な英語を聞き取ろうとしてくれたおかげで会話ができました。なんといっても一番楽しかったのが現地の子供たちと朝から晩まで遊んだことです。ふつうの旅行では経験できないような体験ができました。今でも子供たちの笑顔が忘れられません。

ホームステイではフィリピンの大学生と一緒に生活をして、たくさんのフィリピン料理を食べさせてもらいました。教会にも連れて行ってもらい、日本にはない宗教の文化を直接知ることもできました。

毎日が濃すぎて、ほかにも語りつくせないほどたくさんの経験ができました。フィリピンありがとう！！

フリーエッセイか...んーなに書いたらいいものか...

イイ感じのオタク君カル口が我らのリーダー！マジでいいやつ！

リンとしてるマーディーさん！マーディーさん家は豪邸らしい w(° °)w

ピチピチの女子大学生でホストのエイプリル！英語べらべらの秀才！

ンーん。ジャマイカが一番かわいかったな。うん。ニッキーも。

あの最初のホテルでの男喫煙部屋は忘れない。でもコールの件は忘れてくれ。

りんごよりもバナナ！これフィリピン流！でもバナナ食べた覚えがない。

がしかし！肉が食事に一番出てきた。←これホント。

とは言ってもファームでのごはんが一番うまかった。ママせんきゅー！！

うん。やっぱり何食べてもうまかった。マニラもファームもどこでも。

d(感ゝ`謝)b.:*:・

最も印象に残っているのは...団長の使えなさww

高度なムチャぶりはフィリピンのお家芸。気をつけるべし。

の一ぶろぶれむ。ムチャぶりは得意なやつが引き受けてくれる。

仲違いはしないはず。たぶん。男に振ればなんとかしてくれる。

間隔を空けて思うこと。フィリピン帰りてー！！！！！！！！(*ゝ*)b.:°+♪

とか言ってみる。でも行ったひとならわかるはず。行ってないひとはぜひ！！

思いがあふれてとまらない。

いい経験ができました。ほんと。

出来ることならもう一度。同じとき同じ場所、そして同じメンバーで。

ぷーるでは某DancePartyのせいでさんざんでした。それはともかく。

らくーに楽しく。

いつでも楽しく。

すばらしいISAメンバーと！

れっつごー！！

すばらしい国フィリピンへ！！！！+:。ゝ(o・ω・)ノ° .+

ゝ(*ゝ)/

おわり。

P.S.立って読め！！縦読み推奨 <(_ _)>

impression

つまり感想 ♪

Ayumi Yotsueda

I thank for the Philippines which gave favorite people, a favorite place, an important memory. I never forget that wonderful time

「tears and memory」 Yuta Kametani

Philippines' people welcomed me.

In manila,I cried because Sarah who accompanied us all day leaves us.

In farm,I cried because I didn't want to leave people in farm.

In Bacolod,I cried because I didn't want to leave host student in St.La Salle.

When will I forget the tears?I can't anticipate the time,but certainly I should forget the tears sometime.So I am going to go to Philippine again.

If I forget the memory which I experience in Philippine Ex, I will visit it again and again.Then, I repay for the kindness.

In Ex,most impressive memory is to dance and sing and talk with Philippines.I noticed interesting thing. If I can't exchange by words,we can communicate by non-words. Thank you.

Philippine Ex Ayumi Hata

I had a very good time in Philippine. I experienced many things and I met a lot of people. I never forget these precious memories in Philippine. Thank you for everything.

Yuto Yashima

I know difference between Japan and Philippine.

Philippine is very poor. But They spend very enjoy life every day.

Though Japan is rich, Can we spend enjoy life every day?

I saw many place where national place in Philippine.

For example , Philippine museum , church and so on.

I spend very precious time in this program.

So I want to go Philippine again if I have the enough money .

I had a great time thanks for heartwarming kindness of people in Philippine. They were always on good terms with me and talked with a smile. In the farm, although I was confused because of the difference in culture and life-style between Philippine and Japan, finally, I could overcome. "Smiling" made me relieved.

Shota Miyawaki

I love Philippine.
I love Filipino food.
I love Filipino life style.
I love Filipino guys.

LOVE PHILIPPINE

Kudo Mayo

I had a great time in this Ex, this experience became precious treasure for me.
I could learn the economic gap, the religion, the life style, the culture and so on.
The most impression thing was the smile of children in the farm. Their eyes were so shining and the sweet smile made me happy! Many people are very kind so my heart was warmed. Someday I want to go there again!!
I LOVE PHILIPPINE★THANKS PHILIPPINE 🇵🇭

Takagi Risa

I had a good time in Philippine.
I like Philippine very much. I want to go there again.

KAHO SAKASHITA

I spend enjoy time. And I learned many things. I don't forget this memory.
Thank you and thank you!!!

Akiko Urui

I was surprised that there were some geckos in a house. My host family didn't care about geckos. Why? I couldn't know why they didn't keep geckos out. But through the days in Philippine, I can know why it was. Geckos ate insects. Geckos were useful for them. Philippine knew that, so they lived with geckos. Philippine has knowledge about their lives. They may not be rich, but they can live efficiently.

Shiotani Naoki

I enjoyed this alternative tour so much because I made many friends and learned a lot of friends in the Philippines. So I wanna thank to everyone.
Thank you so much.!!!
I miss you all Xb
Take care!! And see you somewhere!

Tsuda Daichi

It was had a good experience. I think that it was good for the Philippines to perform it. I do not leave this from now on either. Have just begun.

Tsuji Saki

I had a precious memory in Philippine Ex.
I learned many things from this tour.
I experienced people's hospitality and kindness.
Philippines' smile made me happy.
Thank you for many things. I love you so much!!!

Masahiro Kusumoto

I was really happy to go Philippines by 23rd Philippine Alternative Tour 2011. I experienced a lot of things in this tour. These experiences will be one of the most valuable things in my life and surely support me under various situations. I shall be grateful to all people who afforded me an opportunity to experience a lot of valuable things in Philippines all my life.
And I will never forget smiles children in village showed me. I wish their smiles change the world someday.

Yonemoto Chihiro

Thanks to Philippine
I experience happiness by Philippine ex.
Because Philippino(a) said I am happy.
I want to come back Philippine someday. I love Philippine so much. Thank you!

Yuka Fukumoto

I remember the days I spent with the people living in the Philippines vividly.
They were all new to me. At first I was anxious about the safety.
But regardless of it, many people helped me and they were thoughtful so that I could enjoy and experience the life in the Philippines without any danger. I'd really appreciated from the bottom of my heart. As far as we live in the one world, we can see each other again!

Otomaru Chikako

I was surprised many things. For example, food. The Philippines food is liked by Japanese. Because the Philippines food looks like Japanese food. Next, street children. I've never seen them. I think they are too scary. And I've never seen farm's children's eyes too. There are beautiful, and good. When I met them, I can have a difficult question; what is happy? Money? Famous? I think the answer is not them. Without my experience(this Ex) , I can't have this good and hard question. So now I am always thinking about happy.

Natsumi Okamoto

I love Philippine ! Philippine's foods is very delicious. Filipino is very kind. Filipino's smile made me happy!

Yu Ueda

I met so many Philippines. They taught me most important things smile, communication, how to enjoy!! I hope meeting them again someday!!!!

Last program
~23rd Philippines Alternative Tour 2011~ Maeawakura Shiho

Philippines has many treasures, for example beautiful sky, sea, green, and nice smile.
Hospitality of Filipino make us happy.
I am glad to join this program, meet you.
Life of Philippines gave me a nice encounter and new my point of view.
I would like to know about
Philippines more and more.
Powerful and exciting dance is my favorite.
I enjoyed Philippines time.
Nature of Philippines give me healing.
English helped to communicate each other.
Special thanks!!

Koyama Keisuke

Love, friend, hospitality, family, and.....everyone.
All I need is everyone. All I need is Philippines.

For me, the days in Philippine were really exciting, meaningful and shocking.
Soon after I reached Philippine, I got shocked to see street children. Some of them were sleeping on the road, and others were selling flowers to car drivers.
It was my first visit to developing country and I'd never seen street children till then.
So I became afraid and couldn't say anything.
Otherwise, I enjoyed the life in farm very much. As the street children I saw in Manila, people living in farm were poor, too. But latter were quite different from former. All they looked happy and satisfied with their own lives. Though we spent tough days there, we were also happy and satisfied. I thought wealth is not necessarily good.

I experienced so many things, got some invaluable friends and I've grown up in Philippine.
I'm grateful to everyone I met there.
And someday, I want to go back.

Yae Ohno

Love Philippines.
I had wonderful time with everyone.
I love all of you! I love Philippines!

Norie Arikata

This trip was first time to visit to Philippines. I was so happy to stay in Philippines with kind Pilipino and Japanese members and get great experiences. Someday I want to back to my home in Philippines. Thank you for everything!!

Ganahan ko dire sa Piliiness!!

Mariya Harisaki

I had a good time in Philippine Ex. What I was impressed by was kindness of the Philippines. Whenever I meet Philippines, they come in contact with me kindly. As I was in trouble because of my low ability for English, they sensed my confusion and spoke to me actively. They acted in order that I would enjoy the program. I was very glad and appreciate their feelings. Thank you very much!^^

Pilipino was very friendly and cheerful. I got a lot of friends.
I will go back to Philippine someday☺
xoxo... Chisato Fukui

Shunsuke Taniguchi

I visit Philippine for the first time in the program of Philippine Ex. and I never felt people warmth before.
Wherever I go to, everyone shows me their kindness, so I felt calm and more composed than I had in a long time. If you have never been to Philippine, you should go there and feel a certain warmth that you cannot feel in Japan.
Anyway, all I wanna say is

I Love Philippine!!!!!!!!!!!!!!

We are No.1!

ranking

おもしろい人

- 1位 やっしー
- 2位 だいち
- 3位 しょーた、かめ

フィリピーノ♪

- 1位 けいちゃん
- 2位 たいき

乙女♥

- 1位 やえ
- 2位 のんちゃん
- 3位 さき

ランク外：だいち

人気者

- 1位 まなみ、やっしー
- 2位 のんちゃん

変態

- 1位 けいちゃん
- 2位 しおちゃん
- 3位 あゆみさん

ママ

- 1位 まいけるさん

ギャップが激しい人

- 1位 くっすんさん
- 2位 よねっち

頼りになる人

- 1位 けいちゃん 谷さん
- 2位 まいけるさん

日焼けした人

- 1位 たいき
- 2位 けいちゃん
- 3位 よねっち くっすんさん

パパ

- 1位 谷さん
- 2位 かめさん
- 3位 しょーたさん

DS

- 1位 けいちゃん
2位 谷さん
3位 しおちゃん、かめさん

水着

- 1位 まなみ
2位 ちさと
3位 まよ、さき、くっすんさん

自由人

- 1位 谷さん
2位 よねっち
3位 まいけるさん

ゲイ

- 1位 だいち
2位 しおちゃん
3位 かめさん、やっしー

ちゃらい人

- 1位 くっすんさん
2位 かめさん
3位 たいき

国境を越えた愛を見つけた人

- 1位 くっすんさん

うんこキャラ

- 1位 くっすんさん

イケメン

- 1位 たいき
2位 くっすんさん
3位 谷さん

DM

- 1位 のんちゃん
2位 まりや
3位 だいち

フィリピンに行くあなたへ・・・～advices～

<必需品>

- ・パスポート
- ・航空チケット
- ・海外保険
- ・現金（参加費＋ポケットマネー）

※私たちは参加費は日本円、ドル、ペソで支払いが可能でしたが、確認してね！

- ・着替え＋タオル
- ・洗面具
- ・常備薬

<あったら良いもの>

- ・デジカメ＋充電器
- ・携帯電話＋充電器（特にビフォア＆アフター参加者）
- ・マスク

フィリピンの電圧は 220V
なので大抵のデジカメ＆海
外対応携帯なら大丈夫！
ちなみに私は変換プラグな
しで乗り切れましたw
でもあったら安心だね^^

- ・紫外線対策グッズ（つばの広い帽子、サングラス、
日焼け止め）→フィリピンの日差しをなめると痛い目に合う
- ・虫除け（現地で購入できる OFF がオススメ！）
- ・冷感グッズ（冷えピタ、制汗剤、扇子）
- ・羽織りもの（パーカー、ストール等室内はクーラーが効きすぎている場合もあり）
- ・サンダル（現地でも買えるけど機内＆ホテルでも使えるよw）
- ・トイレットペーパー
- ・洗濯ひも
- ・美白マスク（お肌にいいだけでなく、歌手になれるよ笑）

<盛り上がるもの>

- ・おもちゃ（折り紙、シャボン玉、万華鏡等）
- ・写真（家族、着物、日本の風景や行事・料理等）

<おまけ>

フィリピン人はノリが良くダンスもうまいので、羞恥心は日本において楽しむ心を持って
いこう！英語が苦手なら辞書があったら便利かも。

とりあえず、せっかくフィリピンに行くからにはいろんなことにトライして、いろんな人
に関わって、たくさん思い出作ってね♪

☆Have a good trip☆

編集後記

Editor's Note

フィリピンEx.からすでに1ヶ月が経ちました。フィリピンでの思い出は色あせることなく、みんなの心に残っていると思います。フィリピンで知り合った人たちの笑顔、思い出、そしてありがたい気持ち。学生生活の大切な1ページになったのではないのでしょうか。

この報告書を作成していると1ヶ月前のフィリピンがよみがえります。あのとき見たこと、聞いたこと、感じたこと、そして得たもの。もう1度振り返る良い機会になりました。

このプログラムを運営してくれたマーディーさん、現地で私たちの引率をしてくれたカルロ、そしてスタッフのみなさんに感謝の気持ちでいっぱいです。フィリピンの方のみなさんの暖かさのおかげでこのEx.を楽しく過ごせました。

そして、参加者のみなさん。ものすごく濃いメンバーと楽しんだ日々、忘れられませんよね（笑）。みなさんの協力があったからこそこんなに楽しむことができたんだと思っています。ありがとうございます(*´▽`*)

最後に、みなさん、報告書作成にあたって、エッセイ、日記、コメントの協力ありがとうございましたヽ(=´▽`=)ノ

そして、報告書係のマイケルさん、さき、編集お疲れ様です(*´▽`*)ノ ありがとうございました♪

編集者 辻早紀 前栗蔵志帆 大野弥恵

Philippines EX 2011